

会長のページ ハラスメントについて	河野 雅行	3
日州医談 医療メディエーターと医療安全	小牧 斎	4
随 筆 飲み屋 放浪記	谷口 二郎	6
エコー・リレー (519)	小川宗一郎, 下藺 孝司	9
メディアの目 “平成の記憶” リゾート	岩下 秀博	14
国公立病院だより (串間市民病院)	黒木 和男	20
宮崎大学医学部だより (内科学講座消化器血液学分野)	岩切 久芳	22
部会だより (病院部会・医療法人部会)	池井 義彦	23
診療メモ 医療用漢方製剤を処方されている先生方へ そしてまだ処方されていない先生へ	川越 宏文	64
宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第14回清花祭 ～清花絢爛～	阿部 眞也	66

表彰・祝賀	10
あなたできますか? (平成29年度医師国家試験問題より)	11
宮崎県感染症発生動向	12
郡市医師会だより (南那珂医師会, 西諸医師会)	16
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第68回定例総会・平成30年度第1回運営委員会	24
ベストセラー	26
各種委員会 (健康スポーツ医学委員会)	27
九州医師会連合会第373回常任委員会	28
日医インターネットニュースから	30
医師協同組合だより	32
医師国保組合だより	35
理 事 会 日 誌	36
県 医 の 動 き	41
会員の異動・変更報告	42
ドクターバンク情報	43
行 事 予 定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あ と が き	70

お知らせ 宮崎県医療勤務環境改善支援センター	15
グループ保険新規加入者募集	29
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	47
「新春随想」原稿募集	63
郡市医師会への送付文書	68

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品:写真〕

只今、塩サウナ入浴中

秋の風物詩として有名な五ヶ瀬川の
鮎やなを訪れるのは毎年の楽しみの
1つです。

かつぼ酒やあゆ料理を堪能し、至福の
ひとときを過ごしました。

日向市 やす 康 だ 田 あき 明 てる 照

会長のページ

ハラスメントについて

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

最近、ニュースでは頻繁に様々なハラスメントが取り上げられています。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、モラルハラスメントをはじめ、マタニティ、アカデミック、ジェンダー、キャンパス、ドクター、アルコール、スモーク等々、30種類以上のハラスメントがあるともいわれています。

ハラスメント (harassment) とは、行為者本人の意識の有無に関わらず、相手を不快にさせたり、自身の尊厳を傷つけられたと感じたりさせる発言や行動を指します。行為者がそんなつもりはなかったとしても、受け取り手の主観が重視されるため、どのような言動がハラスメントに当たるのかについて十分理解しておく必要があります。

今年はスポーツ界において様々なパワーハラスメント (パワハラ) が問題となりました。体罰的指導は論外として、ある程度の叱咤や厳しい指導をしないと競技成績が上がらないと嘆く指導者の声も聴かれますが、今後は学校やスポーツチーム等での指導のあり方も変わっていくことでしょう。

我々が従事する医療現場では、僅かなミスや油断が取り返しのつかない事態に陥ることもあります。職員に対してしっかり注意や指導をしなければ後々クレームや医療ミスなどの事例が発生した際に怠慢と誹られます。職員を指導する場合、その目的が相手の成長にあり、肯定的、受容的な態度であれば問題はありますが、威圧的、攻撃的、否定的、批判的な態度であればパワハラになりかねません。また、職場においては、職員間のハラスメントを認識しつつ、適切な対応を取らなかった場合には管理者が責任を問われることもあります。

診察における患者さんへの説明についても同様です。療養担当規則には「懇切丁寧な説明を要す」と記してあり、担当規則に従い診療上の説明や注意をしていますが、何度注意をしても理解していただけない患者さんに対しては、限られた診療時間の中で、つい強い口調で説明しているのではないかと忸怩たる思いにもなります。これもドクターハラスメント (ドクハラ) と見做されるかもしれません。日頃からのコミュニケーション、信頼関係の構築が大事です。しかし、医師対患者の関係は、以前と違って昨今は患者さんの方が強い立場で、むしろ、医師の方がハラスメントを受けているのではないかと感じる場合も多々あります。皆様は如何お感じでしょうか。

上述の通り、ハラスメントは行為者本人の意識の有無に関わらずおこりうることですが、迂闊にはものが言えない社会情勢などと萎縮することなく、職員へも患者さんへも、伝えるべきことはしっかりと伝えなければなりません。相手がどのように感じ、考えるかは個人によって異なるということを充分認識したうえで、思いやりと配慮をもって行動することがハラスメントの防止において重要です。

県医師会相談窓口では各種相談を受け付けておりますし、宮崎県医療勤務環境改善支援センター (15頁参照) では、院内でのハラスメント防止研修会の講師派遣等も行っております。お困りの際はお気軽にご相談ください。

(平成30年10月23日)

日州医談



医療メディエーターと医療安全

常任理事 小^こ 牧^{まき} ひとし^{ひとし} 斎^{さい}

はじめに 平成30年度医療メディエーター養成講座の講習会を受講する機会がありました。受講者は看護師、医療事務、MSW、理学療法士、精神保健福祉士のほか若干名の医師の方々で多職種にわたっていました。その講演で学んだことまた関連する資料から医療メディエーションについて自分なりに理解したことをまとめてみましたので報告します。

メディエーション(Mediation)という言葉ですが、辞書では調停、仲裁、取次などと訳されています。医療メディエーションとなると“仲介”と訳す方が妥当かもしれません。医療メディエーターは、医療対話推進者として医療側と患者側のもめごとでの仲介役を務める専門職といえます。

医療メディエーションの目的は、訴訟回避ではなく、示談の成立や紛争の終結・解決でもないようです。解決する・しないでなく、その対話のプロセスと情報の開示・共有過程において、患者と医療者との関係構築をはかっていくことが最大の目的といえます。対話促進の基本として、患者の想いや悲嘆に寄り添い、事故の当事者を支えようとする真摯で誠実な姿勢と倫理性が要求されます。

歴史的にみると、メディエーションは、古くはギリシャ・ローマに遡りますが、現代的なメディエーションについては、アメリカが先駆者になります。1920年代から「紛争とはなにか」、

「解決とはなにか」が学問的テーマとして取り上げられるようになり、1950年代に入ると、それまでの紛争観を一新し、紛争を肯定的にとらえようとする理論が生まれています。こうした紛争理論が、メディエーションの理論的基礎となり、1970年代には心理学的な理論をベースに、現代のようなメディエーション・モデルが開発されています。また、訴訟社会化が進むなか、理論的にも精緻になり実践的にもヨーロッパを中心に普及していったとのことでした。

医療メディエーターは、医療に関するあらゆる苦情もしくは、相談事に対し、公正公平な中立的立場で、当事者である医療者側と患者さん側の橋渡しとして、お互いが腹を割って話し合える場を提供する役割を担う専門職になります。裁判などにおける裁判官的な役割、いわゆる仲裁役ではないのです。意見の食い違いがおこった際どちらかに意見したり、肩入れをするものでもなく、あくまでも話し合う場を提供するという仲介役として黒子に徹するのです。医療相談といえば、「治療内容に対する不安」、「検査に対する不安」、「診断に対する不信」、「医療に対する漠然とした不安」などが考えられます。このメディエーターなる立場の方がいることで、医事紛争になる前にその芽を摘み取れるともいえるのではないかと思います。事実、医療メディエーターの導入で医事紛争の減少、処理事実の変化などがみられているとの報告がありま

す。昨年12月に日本医師会であった医事紛争担当理事協議会においての報告ですが、医事紛争そのものの数は平成15年をピークにその数は減少に転じているとのことでした。診療科別には内科、整形外科、産婦人科の順に紛争は多く発生しています。紛争の処理形態を見ると、20～40%は訴訟に至っているのが現状で、医療を行う側にとっては決して気を緩められる状況ではありません。

組織的にメディエーターを導入する病院や、病院団体も増えているようです。そのような組織においては、真実開示を有効に進めるために医療メディエーターの育成・導入を進めています。医療メディエーターを導入する多くの病院は、トップが「ごまかさない、隠さない」という方針を堅持し、それを実際に進めるための方策として院内医療メディエーターを導入・活用しているようです。紛争を抑制して患者と直接向き合おうとしない病院は、そもそも人材的・財政的負担までして、医療メディエーターを導入しようとなどしないので、こちらのほうが問題といえます。

個別病院では、まずトップの方から率先し、その後継続的にスタッフに順次研修していくとのことでした。これによって、トップの理解と、事故発生時だけでなく、日常診療に至るまで、いつでも誰でもメディエーション的発想で患者さんと直接向き合う姿勢が浸透していくようです。患者サポート体制を構築するのに、組織の文化を対話のある文化へ変革し、職種やチームの壁を乗り越えて組織全体で、患者さんである利用者からの相談または要望に、相互方向の対話で対応するシステムを構築する必要があります。そういう意味では、組織のトップの理解力とたゆまない組織としての常日頃からの学習が必要になってくるのだと思いました。

医療安全の前提としては、まず患者の安全を最優先に考えること、難度の高い医療においても安全に遂行する義務があること、医療は患者との信頼関係・連携の上に成り立つこと、詳しく説明し理解と同意を得る必要があること、医療技術は常に最新・安全・確実であるべきであること等があげられます。また、逆の関係で、医療行為に「絶対安全」はない、治癒しないことがある、事故が発生することがある、説明しても十分理解されとは限らない、人間の合理的行動には限界があることなどを理解しておく必要があります。

おわりに 医療メディエーターの役割について書いてきましたが、基礎編・継続編・応用編と体系化されているプログラムを通して受講するなかでレベルアップに努めていくことが必要です。基礎編を経て、上位プログラムに進むにつれ、1対1の患者対応から始まる現場の実際の展開とその多様性をふまえた実践的内容になっていきます。そのための研修会が今後も企画されますので是非とも参加され病院の医療安全対策として活用して欲しいと感じた次第です。

[参考資料]

- 1) 平成30年度医療対話推進者セミナー資料：
JAHM四国支部支部長・松山市民病院外科診療科長 渡邊良平，JAHM九州支部世話人・国立病院機構九州医療センター 東幸代
- 2) 医療安全 No.18 2008.12 メディエーション最前線医療：メディエーションに関する疑問にまとめてお答えします 早稲田大学大学院法務研究科 和田仁孝
- 3) 文化連情報. 2013；2（431）18-23：医療相談と医療メディエーション 国立大学法人山形大学医学部 中西淑美

随 筆

飲み屋 放浪記

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに ぐち じ ろう
谷 口 二 郎

2001年(平成12年) 1月1日、宮崎市松橋から市内上野町に引っ越した。名称も谷口産婦人科医院から、たにぐちレディースクリニックと変更になった。この場所は私の実家で、昭和45年まで父が谷口産婦人科病院を開業していた。ここで私も昭和24年10月26日生を受けた。

当時は周りに遊郭、いわゆる(赤線)が多数あり、宮崎一の遊郭街になっていた。映画館やストリップ劇場、孔雀園という遊園地もあった。青空市場も大いに賑わって、今でいうスーパーの代わりの役割をしていた。何かというとはそこに集まってきた。銀天街には宮崎に初めてアーケード街ができ、雨が降ってきても人は行き来していた。当時有名なステーキ屋もあり人が列をなしていた。

とにかく、買物、娯楽というものは全部揃っていた。そんな環境で育った私だったので、ませた子でもあった。黒迫通り(今の中央通り)を毎日歩いて小、中学校に通っていた。

その後近くに大きなビルが建ちはじめ、飲み屋街が徐々に形成されていった。私が生まれて初めて行った飲み屋は大太鼓という店で、中に入ると威勢よく太鼓が打ち鳴らされ、来客を知らせる仕組みになっていた。その後スナック、バーなどが次々とできはじめ、その通りはニシタチと呼ばれるようになった。その後中央通り、西銀座通りとそのエリアは拡張していった。

私のクリニックはバージニアビーチ広場(前の青空市場)の目の前にある。飲み屋街まで1分もかからない。一番街商店街までも3分か

からないのである。つまり飲み助の私には最高の立地にクリニックを建てたということになる。行きたい時にいつでも行けるのである。

そこで始めたのが色々な店巡りである。スタイルは“吉田類の酒場放浪記”スタイルで、ぶらりと飲み屋に入る。それも大衆酒場と言われる店ばかりである。そして基本はオープンしたばかりの店である。

どうやってそういう店を見つけるのか。それはまず毎日飲み屋街を散歩することから始まる。新しい店ができる時、必ず改装するので工事中である。だいたい工事を始めたら2~3週間するとオープンする。そのうち蘭などの花が店の前に並べられる。そうすると2~3日以内にオープンである。オープンだから慌てて行ってはいけない。時々中に入った途端「今日は招待客のみです」と断られることがある。

そんな時いつも思うのは、帰り際に「明日からオープンしますので是非おいで下さい。サービス券を渡しますから」とビール一杯無料券とか貰えるかと思いきや、そういう店は一軒もない。それでもう1人客を逃しているのである。もしそういう券を貰ったら、何人かで行こうといつも思う。宮崎の人は商売っ気がないと思うのである。

オープンしたばかりの店に入ると、まず出てくるのが『おしほり』。このおしほりによりその店のランクを決める。コンビニで貰える紙のおしほりが出てくる店はまず一品頼んだら直ぐに出る。“おしほりはお客様への最初のおもてな

し”といわれる。おしぼりが分厚くてボリュームがある店は間違いなく美味しい。

次に『お通し』。殆どの店を出てくる。これが不味い店は100%料理が不味い。ある焼肉屋では漬物2切れで400円のお通し代になっていた。案の定肉は冷凍でそのまま凍って出てきて、それを焼いて食べたが、外側は焦げて中がシャリシャリの肉だった。こんな店は二度と行きたくないと思う。逆にこれがお通し？という程ボリュームがあり、美味しい店もある。そういう店は皿も素晴らしいモノを使ってある。お通しだけで600円位するのだが、それだけでお腹いっぱいになる。

座るのも入る条件の一つである。最近はお年寄り向けに座敷ではない店も多くなった。新しい店は殆ど足が伸ばせるようになっている。またネットなどで調べるとそういう条件も記載してある。最近の女子達は料理よりもそういうことで店を選ぶ。正座ができない私も仲間と飲み会をする時にまずそこをチェックする。

次に禁煙の店であるかどうかである。タバコが苦手な私は店の中でタバコを吸っている人がいる店には入店しない。どうしてもそういう店に入らざるを得ない時はなるべく入口に陣取る。何故なら人の出入りがあり、外気が入ってくることが多いからだ。また煙は換気扇の方へ流れるので、換気扇の遠い所。煙は上に昇っていくので、天井の高い店を選ぶ。もし隣の客がタバコを吸い始めたら食べている最中でも「お愛想」と言って直ぐ店を出る。最近はタバコを手を持った人が隣に座ると「すみません、もうすぐ出るのでそれまでタバコを控えてもらえますか？」とお願いすることも多い。幸いなことに殆どの人が分かりましたと我慢してくれる。

先日4、5人の若者がタバコを手に入ってきたのでお願いしたら、「私達電子タバコです」と言われた。見たら全員電子タバコ。電子タバコは煙が出ないからOKである。最近は電子タバコの人が増えて助かる。吸う方もやはりかなり周りに気を遣っているのである。

食事をする時はいつも写真を撮る。スマホを使い始めてからは、いわゆる“インスタ映え”するように写真を撮ることにしている。それを一口食べる瞬間を自撮りして友人に送る。送られる方は迷惑かも知れないが、最近のスマホは実にプロカメラマンみたいな素敵な写真が撮れるので凄いと思う。

基本的に1回飲みに出たら1万円を持って5軒ハシゴすることになっている。それも知らない店ばかり。「よく5軒も知らない店を探し出せますね」と言われる。それは飲み助独特の嗅覚というものもあるようである。「しかも1万円以内で回れるの？」という質問も受ける。居酒屋は2,000円位、バーは1,500円、生音楽を聴かせる所は2,000円、焼鳥屋は1,000円位なので1万円で充分お釣りがくる。クラブ、スナックには行かない。

一昔前は、いつもその店のマッチを持って帰りそれをスクラップしていた。それはもう何冊にもなっている。しかし最近はマッチを置いてある店は皆無と言って良い。だから行ったら必ず“領収書”を書いてもらう。それは何処の店に行っただのか分かるようにである。そしてそれをスクラップに貼る。この方法は忘れ物をした時に役立つ。何せ普段から忘れ物が多いことで有名なのであるが、飲みに行くと何かしら忘れ物をする。そんな時にもの凄く役立つのだ。

40年前、県立宮崎病院に勤めるために帰郷した。その当時は何軒かの老舗とよばれる店があった。殆ど飲み会はそういうところで行われていた。しかしその当時にあった店は今殆どない。その飲み屋が時代に合わなくなったり、赤字で潰れたり、代継承が上手くいかなかったりするのが原因だ。それでも何軒かは代が替わって細々とやっている。

今や宮崎は居酒屋の戦国時代だ。できては直ぐ潰れ、またできては直ぐ潰れる。それも「スシロー」みたいな安くて美味しい店が増えてきたからである。最近気が付くのは、注文がタッチパネルの店が増えてきたことだ。先日の店もそ

うだった。パネルで注文したが20分しても何も来ない。すると店員さんが来て「何か注文されましたか？」と言う。どうやら最後の確認ボタンの押し忘れらしい。ちょっと恥ずかしかったが、直ぐ料理が出てきて安くて美味かった。

最近目立つのが“立ち飲み屋”。いわゆる『カクウスタイル』の店。店に椅子はなく、立ったまま食べたり飲んだりするお店である。東京に行くとこういう店が多く存在する。椅子がないのでスペースを取らない。立っていると疲れる。だから長居はしないので回転が良いということで値段が安い。2,000円もあればたっぷり食べ酔える。

立ち飲み屋というと、以前は男ばかりで色気がなかったが、最近は女性同士の姿も見かけることが多くなった。それを目当てにまた男が通うことで繁盛する。殆どが目の前に小皿が置いてあり、注文をするとそれにお金を入れる前金制度である。人を雇えなくてもできるので、今後サイドビジネスとして益々流行っていくことだろう。

入店した時にチェックするところがある。それは厨房の綺麗さだ。随分前に行った店に入ったら、年配の主が大きなやかんを磨いていた。不思議に思い尋ねてみたら、時間があつたらいつも何かを磨いているのだという。よく見ると換気扇もコンロ回りもピカピカに磨かれている。もう30年以上もやっている店だという。その店主曰く、厨房が汚い店は美味しい料理を作れない店だそう。それからはいつも厨房の綺麗さ、整理整頓されているかを確かめるようにしている。確かにそういう店は、盛り付けも味も美味しいと思う。

しかし何故、年に100軒を超える初めての飲食店に通うのだろうか。自分でもずっとその理由が分からなかった。しかし最近その理由が分かった。それは知らない店に入る度に、旅をしている気分になれるからだ。つまり初めての店は当然1回も行ったことがないので、ふらりと旅先の店を訪れた気分になるということに気

が付いたのだ。

というのも開業して33年になるが、旅行に行ったのは1回だけだ。ましてや家族旅行は皆無である。それは産婦人科の仕事は何があるか分からないので、遠出ができないのだ。県外にもここ5年位出たことがない。いつも2時間以内の所にしか行けないのだ。

元々旅行好きで学生時代は日本国中を旅した。卒業してからはシルクロード、アフリカ、インドなどの未開の地を旅した。だから何となく見たことのない世界への憧れが強いのだろう。だから一度も目にしたことのない光景を求めて飲食店を巡るのに違いない。今になってそう確信した。

これからもこういう風に新しい店を探す旅は続くことだろう。そこで色々な人と出会い、色々なことを学ぶに違いない。旅と違うこと。それはいつでも我が家に帰れるということ。予約もチケットもいらない気楽な旅である。さあ今夜も気合を入れて旅に出よう。1万円札を財布に忍ばせて…。

居酒屋「あんばい」。レストラン「ヴァンダンジュ」。焼肉屋「りょう」。焼き鳥「とらや」。寿司「寿司虎」。バー「麦家」「Bioバル」。小料理「はつ」。ソバ「蕎麦ダイニング花歩」。パン屋「ボンデリス」。ラーメン「麺屋勝水」。豚料理「蜜風」。ビール「Beer Market BASE」。グリル「ブルーノ」。魚料理「志ほ はなれ」。地鶏「割り箸」。クジラ料理「かぼちゃ」。イタリアン「ジーリ」。大衆酒場「肴屋 KURAGE」。ハンバーグ「杏カフェ」。ビーフシチュー「五番屋」。クセのあるバー「FAR CRY」「Miwa」。器と味「古福」。ピザ「彩食キッチン じゅるり」。貝料理「Dining こう」。餃子「丸鐵餃子」。とんかつ「とんかつ らくい」。鍋「天一」。むし鳥「Laksa」。ベトナム料理「チョムチョム」。フランス料理「CHANTI」。おこぜ料理「あおき」。

但しあくまでも個人的な見解です。

エコー・リレー

(519回)

(南から北へ北から南へ)

延岡での研修を振り返って

延岡市 県立延岡病院 お がわ そういちろう
小 川 宗一郎

今回医師会誌寄稿の話をお願いした時、県立延岡病院産婦人科で研修中であった。自分は宮崎市の生まれで、中学高校は佐賀県の中高一貫校で過ごし、北九州で1

年間の浪人を経て宮崎に戻って来た。これまで延岡市には訪れたことがなく、初めての延岡、そしてこれまであまり経験することのなかった産婦人科での研修について書こうと思う。

実際に研修が始まってみると、産婦人科の先生だけでなく、救急外来の当直で一緒にいる他科の先生、生活をサポートしてくれる事務の方まで優しく接していただき、延岡の地で充実した研修を送ることができた。また、県立延岡病院には、熊本からの研修医もあり、他県での研修や医療現場の話を聞きとても刺激になった。しかしこの一か月の研修期間で最も印象に残ったのは、経膈分娩・帝王切開であった。初めて出産した児と対面した時の母の表情は、疲労が滲んでながらも幸せに満ちており、それを出産の現場で分かち合えるのは幸せなことだと感じた。同時に自分の両親、祖父母への感謝の念も大きくなった。両親や祖父母が徐々に老いてくが、家族の今後をより一層案じる日々であったが、その一方でもっと親孝行をしなければと感じた。研修生活も終わりに差し掛かり、将来について不安な日々が続くが、また一層気を引き締めて精進していこうと感じた。

[次回は、都城市の福永 幹先生をお願いします]

今 生きている 感謝

宮崎市 県立宮崎病院 しも その たかし
下 蘭 孝 司

平成4年に県立宮崎病院に赴任。消化器外科と小児外科の二足の草鞋を履き26年が過ぎた。平成23年に九大小児外科から専門医を派遣してもらうまで、20年間

県内唯一の小児外科医は、当然24時間365日オンコールの毎日。福岡こども病院、大阪府立母子センター、徳島大学等で研修を受け、鹿大のカンファでも勉強させてもらった。その道の大家は皆謙虚な方々ばかりで、研修を快諾、受け入れてもらった。もとより浅学非才の身、成人の癌の手術をしてきた身にとって、患児に術後の人生80年以上の無事を保証しなければならない小児外科医のプレッシャーは、筆舌に尽くしがたい。結果は必ずしも満点とは言えないが、訴訟を経験することもなく、65歳の定年まであと1年余となった。初期の頃に手術を受けた子ども達が、就職・進学する時期になり、そのお祝いに漫画本「君たちはどう生きるか」を送った(将来、吉野源三郎氏の原作も読んで欲しいと付記して)。その中のひとりの母親から、お礼にパステルアートで書かれた淡い赤と緑の綺麗な花がデザインされた絵を戴いた。その絵に、毛筆で「今 生きている 感謝」と書かれていた。産まれてすぐの我が子が手術を、しかも3回も。その時からの母親の気持ちが率直に込められていると感じて、自然に涙がこぼれた。私はこの言葉を戴くために今まで頑張ってきたんだなあと、とても報われた気持ちになった(これまで支えていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます)。

[次回は、宮崎市の東野 哲也先生をお願いします]

表彰・祝賀

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

た き けん じ
高 城 健 司 先生(都 城)おお き た ひろし
大喜多 博 先生(延 岡)とも なり ひさ お
友 成 久 雄 先生(西 都)

平成30年10月13日、精神保健福祉事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高城 先生



友成 先生

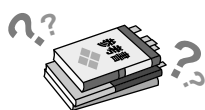
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

たけ だ かず お
竹 田 一 雄 先生(都 城)

平成30年10月25日、学校保健功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



竹田 先生



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は29ページ)

1. 発症3日目の急性心筋梗塞の患者に、収縮期雑音が突然、出現した。
原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。
 - a 大動脈弁閉鎖不全症
 - b 左室自由壁破裂
 - c 解離性大動脈瘤
 - d 心室中隔穿孔
 - e 乳頭筋断裂
2. 27歳の女性。突然起こる動悸や息苦しさを主訴に来院した。約1か月前、出勤時の電車内で突然、動悸と冷や汗が出始め次第に呼吸が荒くなり、「このまま窒息して死んでしまうのではないか」という恐怖感に襲われた。途中の駅で電車を降りたところ、症状は約10分で軽快した。以後も電車の中と自宅で1回ずつ同様の症状があった。心電図を含めた精査を行ったが、異常を認めない。どのような場所においても「また症状が起きるのではないか」という心配が続いている。
このような心配が持続する症状はどれか。
 - a 心気妄想
 - b 自生思考
 - c 閉所恐怖
 - d 妄想気分
 - e 予期不安
3. 大動脈解離による腰背部痛の特徴はどれか。
 - a 突然の発症
 - b 数日間の高熱の先行
 - c 前屈での痛みの軽減
 - d 圧迫による痛みの軽減
 - e 呼吸による痛みの強さの変動
4. 36歳の女性。悪心と嘔吐とを主訴に来院した。1週間前から微熱、悪心および全身倦怠感を自覚していた。今朝一回嘔吐した。既往歴に特記すべきことはない。月経周期30～60日、不整。最終月経は記憶していない。3週間前に市販のキットで実施した妊娠反応は陰性であったという。母親は糖尿病で治療を受けている。身長159cm、体重49kg。体温37.0℃。脈拍72/分、整。血圧102/58mmHg。皮膚は乾燥している。腹部は平坦で、圧痛を認めない。
まず行うべきなのはどれか。
 - a 腹部CT
 - b 妊娠反応
 - c 脳脊髄液検査
 - d 上部消化管内視鏡検査
 - e 経口ブドウ糖負荷試験
5. 高血圧と糖代謝異常をきたす疾患はどれか。3つ選べ。
 - a 肝硬変
 - b 先端巨大症
 - c Cushing症候群
 - d 偽性Bartter症候群
 - e 偽性アルドステロン症
6. 僧帽弁閉鎖不全症の原因になりにくいのはどれか。
 - a 急性心筋梗塞
 - b 拡張型心筋症
 - c 上行大動脈瘤
 - d 感染性心内膜炎
 - e 僧帽弁の粘液変性
7. 4歳の女兒。30分前にボタン電池を飲み込んだため父親に連れられて来院した。機嫌はよい。胸腹部エックス線写真で胃内にあることが確認された。
対応として適切なのはどれか。2つ選べ。
 - a 胃洗浄
 - b 開腹手術
 - c 経過観察
 - d 磁石による摘出
 - e 内視鏡による摘出
8. 成人で加齢とともに増加するのはどれか。
 - a 腎濃縮力
 - b 細胞内液量
 - c 末梢血管抵抗
 - d 糸球体濾過量(GFR)
 - e 1日当たりクレアチニン産生量
9. 52歳の男性。突然の心停止のため救急車で搬入された。マラソン競技大会で走行中に突然倒れ、直後から呼びかけに反応なく、呼吸もなかった。現場で大会救護員が胸骨圧迫を開始し、AEDによる音声指示でショックを1回施行した。救急隊到着時の意識レベルはJCSⅢ-300。頸動脈の拍動は触知可能であった。救命救急センター搬入時の意識レベルはGCS 6。心拍数96/分(洞調律)。血圧108/72mmHg。呼吸数24/分。SpO₂ 100% (リザーバー付マスク 10L/分酸素投与下)。
脳保護のために行うべき治療はどれか。
 - a 人工過換気
 - b 体温管理療法
 - c 静脈麻酔薬投与
 - d 高浸透圧利尿薬投与
 - e 副腎皮質ステロイド投与
10. 自記式の心理学的検査はどれか。
 - a Rorschachテスト
 - b 津守・稲毛式発達検査
 - c 状態特性不安検査(STAI)
 - d Mini-Mental State Examination(MMSE)
 - e 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale(BPRS)]

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

平成30年9月3日～平成30年9月30日(第36週～第39週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核11例(男性4例・女性7例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：都城(2例)、日向(1例)保健所管内から報告があった。年齢別報告数は、0～4歳・20歳代・90歳代(各1例)である。主な症状として腹痛、水様性下痢、血便がみられ、原因菌のO血清型別報告数はO26(VT1)2例、O157(VT1, 2)1例である。

4類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で、ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱がみられた。

○日本紅斑熱2例：日南・高鍋(各1例)保健所管内から報告があった。40歳代・70歳代(各1例)で、このうち1例でダニの刺し口が確認された。主な症状として発熱、頭痛、発疹、肝機能異常等がみられた。

○レプトスピラ症2例：宮崎市・日南(各1例)保健所管内から報告があった。20歳代・70歳代(各1例)で、主な症状として発熱、結膜充血、腎不全等がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状は肺炎である。原因菌は *Enterobacter cloacae* であった。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状としてショック、腎不全、軟部組織炎がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：都城保健所管内から報告があった。30歳代で、病型は無症状病原体保有者である。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：日向保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状として発熱、全身倦怠感がみられた。

○梅毒1例：宮崎市保健所管内から報告があった。10歳代で、病型は早期顕症梅毒(Ⅱ期)で、主な症状として梅毒性バラ疹がみられた。

○百日咳17例(男性7例・女性10例)：保健所別報告数は【図2】、年齢別報告数は【表4】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、スタカート等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有14(例)、無3(例)である。

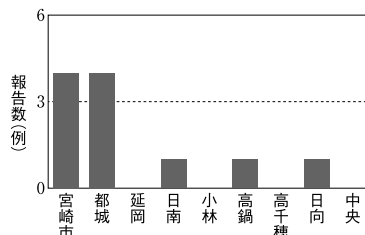


図1 結核 保健所別報告数

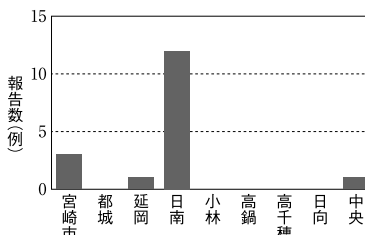


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	2
その他の結核(結核性胸膜炎、結核性リンパ節炎)	2
肺結核及びその他の結核(粟粒結核)	1
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
50歳代	2
70歳代	5
80歳代	3

表4 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	3
5～9歳	6
10歳代	8

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	RSウイルス	2
	インフルエンザウイルスAH3	1
	インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	1
	エコーウイルス11型	1
	エコーウイルス18型	1
	コクサッキーウイルスB3型	1
	ヒトヘルペスウイルス6	1
	ヒトヘルペスウイルス7	1
	ヒトメタニューモウイルス	1
	ヒトラノウイルス	1
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	3
	EHEC (O26:H11 VT1)	4
	EHEC (O157:H7 VT1, 2)	2
	EPEC (O153:H21 eae)	1
	EAggEC (O111:H21)	1
	O157LPS 抗体(+)	1
	<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4, z23:-)	2
	<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m, t:-)	2
	<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l, z13:1, 7)	1
	<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1, 2)	1
	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1, 5)	1
	<i>Neisseria meningitidis</i> (血清群不明)	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,065人（定点あたり99.6）で、前月の85％、例年の114％であった。

前月に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナである。

RSウイルス感染症の報告数は720人（20.6）で前月とほぼ同率、例年の約1.5倍である。日南（41.7）、都城（29.0）保健所からの報告が多く、2歳以下が全体の約9割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は232人（6.6）で前月の約0.7倍、例年の約1.6倍である。延岡（27.5）、日向（9.3）保健所からの報告が多く、6か月～2歳が全体の約8割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は1,351人（38.6）で前月とほぼ同率、例年の約1.6倍である。日南（151.3）、小林（43.7）、日向（41.5）保健所からの報告が多く、1～3歳が全体の約4割を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向 （2018年9月）

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

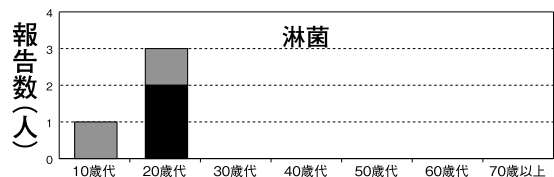
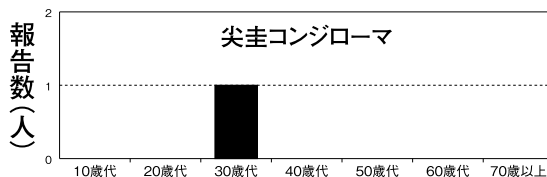
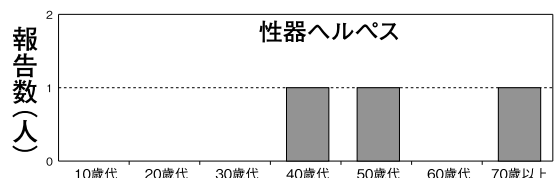
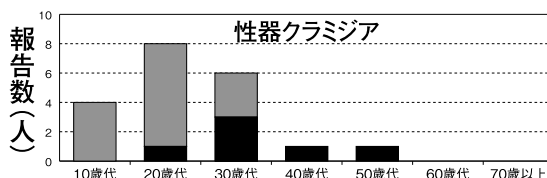
定点医療機関からの報告総数は28人（2.2）で、前月比90％と減少した。また、昨年9月（2.9）の74％である。
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数20人（1.5）で、前月の約1.2倍、昨年9月とほぼ同率である。
20～30歳代が全体の7割を占めている。（男性6人・女性14人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月及び昨年9月の約0.4倍である。（女性3人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の0.5倍、昨年8月と同率である。（男性1人）

○淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月と同率、昨年8月の約0.4倍である。（男性2人・女性2人）



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人（1.9）で、前月比68％と減少した。また、昨年9月（3.9）の48％である。
《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人（1.7）で、前月の約0.7倍、昨年9月の約0.5倍である。
70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月及び昨年9月と同率である。年齢は70歳以上である。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（前年報告なし）
（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2018年9月		2018年8月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり（人）	報告数（人）	定点当たり（人）	
インフルエンザ	13	0.2	14	0.2	
RSウイルス感染症	720	20.6	747	21.3	★
咽頭結膜熱	70	2.0	94	2.7	
※溶レン菌咽頭炎	183	5.2	256	7.3	
感染性胃腸炎	1,351	38.6	1,312	37.5	★
水痘	52	1.5	53	1.5	
手足口病	146	4.2	420	12.0	
伝染性紅斑	7	0.2	5	0.1	
突発性発しん	123	3.5	163	4.7	
ヘルパンギーナ	232	6.6	319	9.1	★
流行性耳下腺炎	80	2.3	158	4.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	87	14.5	99	16.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.1	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

メディアの目



“平成の記憶”リゾート

UMKテレビ宮崎 報道部長
いわ した ひで ひろ
岩 下 秀 博

「平成」の時代も残りわずかとなり、UMKでは夕方ニュースの中で「みやざき平成の記憶」と題してテーマごとに30年の歴史を振り返っている。いろいろ紐解いていくと懐かしい思い出もよみがえってくる。

バブル経済に彩られた時代背景の中でスタートした「平成」、県内では国のリゾート法第1号に指定された「宮崎・日南海岸リゾート構想」が進んでいた。その中核となっていたのが平成2年に着工した宮崎市のシーガイアだった。

2,000億円を超える巨大プロジェクトは、当時のフェニックス国際観光が中心となり、宮崎市が出資する第3セクターで進められ、平成5年には室内プールとしては世界最大級といわれたオーシャンドームが完成した。シーガイアの象徴でもあったこの施設には県内外から大勢の人たちが訪れ、水着による入社式なども大きな話題となった。

その翌年には45階建てのホテルとコンベンションセンター・サミットが完成、プロジェクトはグラントオープンを迎えた。当時制作部に所属していた私は、オープニング特番に携わり、取材を重ねた。その中で特に印象に残って

いるのが、オープニングアクトとしてコンベンションセンターで開かれたロック歌手スティングのコンサートだ。シーガイアのイメージソングを歌っていたのだが、超大物スターのコンサートが宮崎で聴けるとは夢にも思わなかった。記者会見では、緊張感漂う中で質問をしたが、何を聞いたかは覚えていない。いまラジオなどからスティングの曲が流れてくると、あの時のことを思い出す。

平成12年には、サミット外相会合が開かれ、世界へ大きく発信したシーガイアだったが、バブルが崩壊した後、時代の流れは変わっていた。経営が悪化していたシーガイアは、翌年、3,000億円を越える負債を抱え破たんした。

その後、経営は引き継がれ、リゾートの形も変化、象徴だったオーシャンドームは姿を消した。今はラグビー日本代表の合宿や2020東京五輪に向けて各国チーム直前合宿の誘致先になるなどスポーツランド宮崎としての一翼も担っている。

来年から元号が変わる。新しい“時代”にシーガイアがリゾートとしてどう進化していくか注目したい。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

各都市医師会だより**南 那 珂 医 師 会**会長 なか 中 むら 村 あき 彰 のぶ 伸

過去4年間、前会長島田雅弘先生の下で南那珂医師会副会長を経験させていただき、今年6月会長に推挙され就任いたしました。先輩方のご努力下、南那珂医師会と行政(日南市・串間市)との関係、保健所や三公立病院(県立日南病院・日南市立中部病院・串間市民病院)との関係は良好ですし、会の運営のあり方や事業の進め方、手続き等の手法について、このまま継続していくのがベストな状態だと思います。

現在取り組んでいる事業として

- 在宅ケア研究会
当医師会が主催し、日南と串間でそれぞれ毎月1回開催、日南では280回を数える歴史ある会です。地域包括支援センターや介護支援事業所、行政担当者も多数参加するので地域包括ケアシステム構築に資する有意義な会に発展することが期待されます。
- うつ病医療連携強化事業
宮崎県からの委託を受け、自殺防止対策の一助として今年から取り組みを開始した事業で、これからどれ程浸透し、効果が得られるか検証していきたいと考えます。
- 日南市糖尿病腎症重症化予防プログラム
宮崎県や他市町村が取り組んでいる標記プログラムについて日南市も10月1日から運営を開始しました。プログラム策定段階から市に協力しており、運営についても積極的に参加し、その実効性について評価検討していく予定です。また、糖尿病発症予防への取り組みについても導入を提言したいと考えます。
- 日曜祝日在宅当番医、夜間急病センター運営
日南串間両市の委託で会員の先生方にご協力いただき、準夜帯に夜間急病センターを毎日運営しており昨年度は年間3,000件の利用がありました。

以上のような事業活動をしておりますが、会員の利益を損なうことなく、会員が地域医療に専念できるような環境づくりができるよう行政や関係諸団体、県医師会、郡市医師会と協調して当医師会の運営にあたりたいと考えます。

学術知識も医療情勢、医療行政に関する知識経験も未熟な若輩ですので、ご指導、ご教授よろしくお願いいたします。



南那珂医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年 6 月 1 日定例総会終結後～2020年 6 月定例総会終結時)

	役職名	氏 名	診療科	所属医療機関	担 当 業 務
*	会 長	中村 彰伸	眼科	中村眼科	総括
*	副 会 長	河野 秀一	内科	河野医院	総括補佐, 学術・生涯教育, 病診連携 産業医
*	〃	内村 利博	産婦人科	産科婦人科 うちむらクリニック	総括補佐, 医事紛争, 救急医療, 園医
*	理 事	藤浦 芳丈	循環器内科・内科	藤浦循環器科内科 クリニック	総務, 介護保険, 日南在宅ケア研究会
*	〃	川西 昭人	脳神経外科・神経内科 リハビリテーション科	かわにし脳神経外科	会計, 労務・福祉・給与委員会
	〃	黒木 和男	内科・消化器科	串間市民病院	病診連携
	〃	竹中 晃司	外科	日南市立中部病院	病診連携
	〃	江良 幸三	形成外科・皮膚科	江良形成外科皮膚科	学校医, 医師国保
	〃	峰松 俊夫	内科 基礎医学(ウイルス学)	愛泉会日南病院	宮崎県医師会理事, 感染症 医療情報システム
	〃	木佐貫 篤	病理診断科	宮崎県立日南病院	病診連携
*	〃	戸倉 健	内科	戸倉医院	急病センター, 学校検診(心臓・腎臓)
	〃	岡村 武志	整形外科 リハビリテーション科	岡村クリニック	串間在宅ケア研究会, 医師国保
*	〃	大井 康夫	外科	大井外科医院	保険
*	監 事	津曲 俊郎	小児科・アレルギー科	津曲小児科医院	
	〃	満留 武宣	眼科	みつとめ眼科	
*	議 長	百瀬 文教	外科	百瀬病院	
*	副 議 長	井手 秀幸	外科・内科・胃腸科 肛門科	井手胃腸科・肛門科	

*は新任

各都市医師会だより

西 諸 医 師 会

会長 うちむらだいすけ
内村大介

平成30年6月22日の第7回定時総会後に臨時理事会で会長に再任され、2期目がスタートいたしました。矢野裕士副会長、丸山賢幸理事、前田和伸理事の3名が退任され、副会長には前理事の花田武浩先生、また理事には新たに石澤宗純先生、竹之内剛先生、寺谷威先生が就任されましたことで、理事の平均年齢も52歳となりました。退任された理事の先生方には1期目を支えていただき感謝申し上げます、また新たに就任された先生方には、新執行部の原動力としてご活躍いただければと大きく期待いたしております。

さて、平成27年度より取り組んでおります在宅医療介護連携推進事業につきましましては、多くの議論を重ね本年4月より小林市・えびの市・高原町の委託を受けて本格的に稼働し始めたところでございます。7月からは専門職を配置し医療介護連携推進室を2名体制で開設いたしました。2025年を目標に関係機関のご協力を賜りながら本事業を推進してまいりたいと考えております。

また、昨年8月から当地域で分娩施設がなくなっておりましたが、宮崎大学をはじめとする関係者の皆様の多大なるご支援ご協力により、7月より当地域出身の産婦人科医師が小林市立病院にご着任いただき、分娩開始に向けての準備が進んでいるところでございます。ご支援賜りました皆様方には改めまして感謝申し上げます。

最後に、昭和48年に建設され老朽化が進んだ当医師会館及び小林准看護学校の新築問題、西諸地域に存在する3つの自治体立病院に関する課題、小林看護医療専門学校のはぐくみ奨学金に関する問題など、様々な問題が山積しておりますが、それらの解決も私に課せられた責務ではないかと考えております。新役員一同力を合わせ、地域住民が十分な医療を受けることができ、そして安心して暮らすことができる街づくりに協力するとともに、今後訪れる超高齢化社会に向けて全力で取り組んでいきたいと存じますので、皆様方には、多大なご指導、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



西諸医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年6月22日第7回定時総会終結後～2020年6月第9回定時総会終結時)

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	内村 大介	精神科, 心療内科	内村病院	総括
副 会 長	園田 定彦	内科, 外科 腎臓内科	野尻中央病院	准看護学校の管理・運営, 医療事故 医療紛争, 在宅医療, 介護〔教務委員会〕 〔県医師会理事〕〔医師連盟委員会〕
*	〃 花田 武浩	耳鼻科, アレルギー科 気管食道科	花田耳鼻咽喉科	医師国保, 税務, 地域医療
理 事	吉村 雄樹	内科, 循環器内科 放射線科	よしむら循環器内科 クリニック	総務, 広報, 会員福祉, 厚生, 医師年金 医師協同組合, 産業医, 保健予防, 学校 保健, 〔産業医部会〕〔心臓・腎臓検診委 員会〕〔学校医部会〕
〃	莫根 隆一	外科	国民健康保険高原病院	生涯教育
〃	坪内 斉志	外科, 消化器外科	小林市立病院	保険医療, 救急医療
〃	井尻 裕司	眼科	井尻眼科医院	会計全般
〃	河内 謙介	外科	えびの市立病院	労災医 自賠責〔勤務医部会〕〔労災部会〕
〃	堀 英昭	外科, 消化器外科	堀胃腸科外科医院	時間外急病診療〔有床診療所協議会〕
*	〃 石澤 宗純	循環器内科 消化器内科, 内科	いしざわ循環器内科	学術〔内科医会〕
*	〃 竹之内 剛	整形外科	整形外科前原病院	訪問看護
*	〃 寺谷 威	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	整形外科押領司病院	厚生, 労務
監 事	高崎 直哉	皮膚科	高崎皮膚科医院	
〃	丹 光明	内科, 外科, 皮膚科	丹医院	
議 長	志戸本宗徳	内科, 呼吸器科 消化器科	京町共立病院	
副 議 長	榎 健一郎	糖尿病内科 呼吸器内科	榎内視鏡内科医院	

*は新任

国公立病院だより

串間市民病院



くろき かずお
黒木 和男
事業管理者兼院長

串間市は宮崎県南端に位置しており、鹿児島県と接しています。人口約1万8,000人で交通の便が非常に悪く、高速道路もなく、宮崎市内から車で約1時間半、JRで約2時間半かかります。串間市民病院は、昭和29年3月、串

間市国民健康保険病院として設立されました。平成17年5月、約1km離れた現在地に新築移転しました。平成19年4月には串間市の総合福祉センターが同一敷地内に建築されました。平成29年4月より地方公営企業法全部適用となりました。串間市体育館、串間市総合グラウンドが隣接しており、串間市の医療・福祉・健康ゾーンとして位置付けられています。串間市民病院はベッド数120床、内科、外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、総合診療科の常勤医が在籍しており、非常勤として皮膚科、耳鼻科の医師が宮崎大学から来ています。地域の中核病院として地域医療に貢献しています。

現在の状況

私が串間市民病院に赴任したのは平成14年9月1日ですので、16年が経過しました。平成16年からは新臨床研修制度がはじまり、それまであった宮崎大学、鹿児島大学からの派遣が少なくなってきました。平成13年までは16名いた常勤医師が平成14年には13名となり、現在は、11名となっています。収益も悪くなり、3年間を除いては赤字が続いています。特にここ3年間は赤字幅が大きくなっており、平成27年度2億6千万円、平成28年度2億8千万円、平成29年度3億2千万円で累積赤字は13億円を超えています。

現在はその対策におわれています。昨年はアドバイザリー事業を導入して、職員の意識改革をはかりました。今年度は、入院数も増加して

成果が表れています。

串間市内で唯一の急性期の病院であり救急車も年間約500台を受け入れています。当院で対応できない脳卒中、心筋梗塞などは他の地域の専門医療機関に搬送しています。産婦人科については、これまで90名前後の出産がありましたが、今年度いっぱい産婦人科の常勤医が不在となり分娩に対応できなくなります。

当院での取組み

私は宮崎県立宮崎大宮高校を卒業後、広島大学医学部に入学し、昭和54年3月、同大学卒業後すぐに宮崎医大第二内科に入局しました。平成2年から平成14年まで日南市の日南市立中部病院に勤務し、その後、現在に至るまで串間市民病院院長として勤務しています。これまで28年間県南地区の医療にかかわっています。平成29年4月からは、串間市民病院が地方公営企業法全部適用になったのに伴い串間市病院事業管理者として、院長を兼任しながら病院経営にあたっています。私自身は地域医療として一般内科の患者さんをみる一方、肝臓専門医として、B型肝炎、C型慢性肝炎を中心とする肝疾患の診療に当たってきました。

急性期医療からの転換

ー地域包括ケア病床の導入ー

当院ではこれまで急性期の病院として治療に当たってきましたが、団塊の世代が75歳となる2025年にむけて、病床機能の見直しを行い、地域包括ケア病床の導入を行いました。平成28年7月より、全病床120床のうち22床を地域包括ケア病床へ転換しました。

入院して治療が終わった患者さんがスムーズに在宅へ移行できるように取り組んでいます。

訪問診療、訪問看護

これまでの急性の疾患で入院して退院後は、治療に関わることができなかったのも、なんとか継続的にみていけないかとずっと考えておりました。平成28年から癌末期で緩和ケアが必要となったり、認知症が進行して通院困難となった患者さんには、退院後、訪問診療、訪問看護を導入しています。自宅でお看取りをするケースも増加しています。家族に見守られて笑顔で最期を迎えられることができてよかったですと非常に感謝されています。さらに増加していく

ものと予想されますのでスタッフを充実させていきたいと考えています。

初期臨床研修医の受け入れ

平成20年から宮大の初期臨床研修医を地域医療研修として受け入れています。当初は4名でしたがしだいに増加して最近では10名前後の2年目の研修医を1か月間地域医療研修として受け入れています。平成26年度からは県立日南病院の初期研修医も受け入れています。これまでに94名の初期研修医を受け入れています。その中で6名は初期研修終了後当院でしばらく働いていました。主治医となって入院患者さんの診療にもあたり、外来診療、腹部エコー、消化管内視鏡検査などの検査、訪問診療などの在宅医療にもあたってもらっています。地域医療の現場で働くことの大切さ、大変さを肌身を感じているようです。

学生実習

平成25年度より宮崎大学地域医療・総合診療医学講座のサテライトセンターが県立日南病院に設置され、平成26年度より宮崎大学医学部5年生の臨床参加型実習が開始されました。当初は3日間の実習でしたがその後次第に期間が延びています。本年11月からは、クリクラⅡとして5年生から6年生にかけて約4週間の実習を受け入れる予定です。新患の間診をとり診察までして、そのあと指導医が診察をして指導する

こととしています。処置室で実際に採血もしています。訪問診療にも参加しています。保健福祉センターでの実習や串間市内の開業医の先生の診療所や介護施設見学をする機会もあり様々な経験ができるようです。大学での座学では得られない貴重な経験が得られ、地域医療に対する理解が深まったようです。

総合診療専門医育成にむけて

平成27年4月から、宮崎大学地域医療・総合診療医学講座の松田俊太郎先生が串間市民病院の勤務となりました。平成27年4月より総合診療科を院内標榜して、診察室も別に設けました。総合診療科は、指導医1名、後期専攻医3名で診療しています。外来、入院をみており、さらに訪問診療もしています。「0歳から100歳までをいつでもみます」をモットーにしています。どんな患者さんも必ず診察をするという姿勢に対して、市民からも非常に好評を得ています。

おわりに

串間市民病院は地域の中核病院としての機能を果たしています。今後もその役目を忘れないようにしながら、地域医療を守っていききたいと思います。そのためには、将来を担う若い医師たちや医学生に地域医療にふれてもらい、医師としての生きがいを見出してほしいと考えています。



宮崎大学医学部だより

内科学講座 消化器血液学分野



しもだ かずや
下田 和哉 教授

当講座には2006年10月に第三代目の教授として就任した下田和哉教授の下、55名の医局員（大学内 28名、関連病院出張者 22名、国内留学者 5名）が在籍しております。

大学病院の診療は昨年より臓器別の診療体制となり、私達は血液内科、肝臓内科、消化器内科として診療を行っています。

血液内科は、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などの造血器悪性腫瘍を主な対象疾患としています。これらに対する治療は、県内の施設と宮崎ヘマトロジーグループ（MHG）を形成し、各疾患に関する密な情報交換を行い、統一した治療方針で行っています。また、2015年には非血縁者間同種移植の認定施設を取得し、本年10月までに96例の同種造血幹細胞移植を行いました。これにより、治療のために県外への転院を余儀なくされていた患者さん方の治療が、県内で完結できるようになりました。

肝臓内科は、C型慢性肝炎・代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー療法、B型慢性肝炎・肝硬変に対する核酸アナログ療法、自己免疫性肝炎や原発性胆汁性胆管炎、劇症肝炎などの難治性肝疾患に対する治療、肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法や分子標的薬治療、食道胃静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法などを中心に診療を行っています。特にC型慢性肝炎・代償性肝硬変に対する治療の進歩はめざましく、2017年に集計した宮崎県内でのインターフェロンフリー療法（ソフォスブビル/レジパスビル）313例の治療成績では、99%が治癒に至っており、75歳以上の高齢者においても治療

効果や副作用に差がなく、有用かつ安全な治療であることが確認できました。

消化器内科は、旧第一内科、旧第二内科の消化管グループが統合され「宮崎大学附属病院消化器内科」となり、クローン病や潰瘍性大腸炎、腸管バネチット病などの炎症性腸疾患の診療、早期消化管癌に対する内視鏡治療、消化管癌や膵癌に対する消化器悪性疾患の化学療法、カプセルやダブルバルーンなどの小腸内視鏡を中心に診療を行っています。

当講座の主な県内関連病院としては、県立宮崎病院・県立延岡病院・都城医療センター・古賀総合病院等があり、医局員が日々、地域医療に貢献すべく努力しております。

研究においては、宮崎県に多い成人T細胞白血病・リンパ腫（ATLL）の病態解明と最適治療法の開発、真性多血症・本態性血小板血症などの病態解明と新規治療法の開発、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）や慢性肝炎から肝硬変に至る原因である肝線維化機序の解明を目指した研究を行い、宮崎からのエビデンス発信に注力しています。

医師教育においては認定内科医や総合内科専門医、また新制度となった内科専門医の取得に加え、サブスペシャリティーの専門医も最短で取得できるように指導を行っています。また、各人が専門とする領域の修練は勿論のこと、内科医として疾患ではなく患者さん全体の診療ができる医師育成に努めています。

学生教育においても疾患の知識習得のみならず、診断に至るまでの内科的な考え方、患者さん個人々々の要望に沿った治療選択など総合的な指導に努めています。

当講座は内科学講座としては、まだまだ小規模ではございますが、医師会の諸先生方におかれましては、今後ともご支援ご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

（文責 医局長 岩切 久芳）

部会だより

病院部会・医療法人部会

病院部会長
いけい よしひこ
池井 義彦医療法人部会長
あいざわ きよし
相澤 潔

平成30年6月より宮崎県医師会病院部会会長を拝命した池井です。両部会を代表して、病院部会・医療法人部会についてご紹介させていただきます。

病院部会は県内の公私立病院116医療機関、医療法人部会は66医療機関を会員として構成され、地区毎に選出された役員を中心に事業を行っております。

病院部会は、今年の役員改選で、濱砂重仁会長がご勇退され、顧問に就任いただきました。そして、副会長に飯田正幸先生(理事より副会長へ)、新任理事に野崎正太郎先生、獅子目亨先生、濱砂カヨ先生、大塚康二朗先生、丸山賢幸先生、監事に大塚直純先生(理事より監事へ)が選出され、新しい体制で動き始めました。

病院部会と医療法人部会は合同で活動を行っており、理事会や総会の他、皆様にとって関心の高い医療経営や学術講演を行う「合同研修会」、医療関係の話題に加え一般教養を含んだ「医療従事者研修会」を開催しております。この医療従事者研修会では、会員医療機関より推薦いただき、長年にわたり医療機関に貢献された職員の方の表彰も行っております。

ここで、平成30年度の活動をいくつかご紹介いたします。まず、先日10月13日に開催した

「合同研修会」では、はじめに『平成30年診療報酬改定と今後の方向性』と題して、全日本病院協会医療保険・診療報酬委員会 西本育夫委員に、続いて『病院の戦略転換を実現するオペレーションマネジメント』と題して、株式会社日本経営 太田昇蔵次長にご講演をいただきました。また、同研修会にあわせ、講師をお務めいただいた西本先生にコンサルタントをお願いし、「病院経営等に関する個別相談会」を開催しました。診療報酬改定や地域医療構想に伴う病床転換のタイミング等について、各医療機関の状況や地域の特性を考慮した具体的なアドバイスをいただき、大変有意義な会となりました。

また、年明け2月16日(土)に開催する「医療従事者研修会」では、講師に、著書『死都日本』(2002年9月 講談社)や、メディア出演などで活躍の石黒耀先生をお招きし、災害や九州の火山活動に関するご講演をいただく予定です。こちらも興味深いお話が拝聴できるものとなっておりますので、ぜひご参加くださいますようご案内いたします。

さて、平成30年は医療・介護報酬の同時改定が行われました。これは、今後の医療提供のあり方に対し、大きな方向付けを考慮されたものと考えます。現在、医師の働き方に関して議論が行われており、様々な問題が生じることが予測されます。このような大きな転換期において、それぞれの医療機関は、地域の特性、各医療機関の特徴に応じた対策が必要となります。会員の先生方が、将来を見据え、地域医療のため、また、医療経営にとってより良い判断ができるように、引き続き行政や医師会と連携し、有益な情報提供を行っていきたいと考えております。

(病院部会長 池井 義彦)

全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第68回定例総会・平成30年度第1回運営委員会

と き 平成30年9月22日(土)

ところ シーガイアコンベンションセンター

平成30年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、宮崎県医師会の担当で開催された。

協議会長挨拶

宮崎県医師会長 河野 雅行

本協議会は、武見太郎元日本医師会長の提唱によって誕生し、日医認定医療秘書養成校の全国組織として昭和40年に発足した、歴史と伝統のある協議会である。今年度から、香川県医師会が加入し、13県15校になった。今後も加入校の増加に向けて期待が高まる。

現在、厚生労働省において「医師の働き方改革に関する検討会」が開かれ、医師の労働時間短縮に向けた「タスク・シフティング」の実現についても議論が交わされている。より高度化、専門化する医療の現場において、業務を効率的かつ迅速・正確に補助できる医療秘書の役割は今後さらに高まってくると考えられる。

本協議会としても、日医認定医療秘書という職種が一層活躍の場を設けられるよう、今後も日医主導のもと、医療を担う専門職としての医療秘書の認知度向上に努めると共に、加入校の増加に向けて日医認定医療秘書の養成に取り組む所存である。

来賓祝辞

日本医師会長 横倉 義武
(松原日医副会長代読)

来年2月3日に日本医師会医療秘書の認定試験の実施を予定しており、宮城県の板橋委員長をはじめとする委員の先生方には尽力をいただき感謝申し上げます。



日本医師会では、かかりつけ医を中心とした医療提供体制や、地域包括ケアシステムの構築を通じたまちづくりを提唱している。変換期を迎える医療を支える人づくりにも取り組まなければならない。医療秘書の養成は、人づくりの一環であり、医師の働き方改革が大きく議論される中、事務的な面で医師を支える医療秘書の有用性はますます高まってきており、基礎的な医学知識と最新の情報処理能力を備えた本会認定医療秘書は、即戦力としての活躍が期待できる。医師が専門的な業務に専念できる環境を作るためにも、引き続き診療所への加算拡大を認めるとともに、一人の医師に一人の医療秘書を配置できるよう主張していきたい。都道府県医師会の先生方においても、養成校との連絡、連携を密にし、認定医療秘書の活躍の場の確保に協力をいただきたい。

報告

- 1 平成29年度会務報告
- 2 常任委員会
- 3 日本医師会医療秘書認定試験委員会

日医医療秘書認定試験委員会については、板橋委員長より、平成31年2月3日(日)に実施する試験について、昨年まで新・旧課程の2種類の問題を作成していたが、今回より全科目統一内容にて行う旨が報告された。今後、4回委員会を開催し、2月21日(木)の委員会で合否判定を行い、3月1日(金)に合格発表を行う予定。

4 各学院の現況調査結果

5 医療保険請求事務実技試験委員会について

山村常任委員から、平成30年度第1回医療保険請求事務実技試験委員会では、具体的な試験問題について検討が行われ、適正なものとして承認されたとの報告があった。試験時間を昨年同様90分とし、問題の回収については、すべての学院が試験を終了する日以降に返却することで承認された。

6 その他

電子カルテの扱いについて、今後は秘書としてアシスタント的な技術をカリキュラムとして組み込む必要性が出てくるのでは、との意見があった。また、医療機関の認定制度への認識が十分ではないとの意見があった。

カリキュラムの内容や医療機関への周知について、日医としても検討していくとの返答があった。

協 議

1 平成29年度収支決算

2 平成30年度事業計画(案)

3 平成30年度収支予算(案)

1～3について協議が行われ、提案どおり承認された。

4 医療保険請求事務実技試験の外部委託について

池井運営委員から説明があった。医療保険請求事務実技試験について、作問者が学院教員である場合の指導上の不都合、問題

漏洩リスク、年度ごとの難易度のばらつき、問題作成ミスの発生、当番県の負担が大きいことなどから、試験問題の作成を外部の民間企業に委託する可能性について、前当番県の広島県と宮崎県との間で協議を行っていた。

今年度、本県が行う外部委託内容を参考に、委託先の選定等について、今年の試験終了後にさらに検討を重ね、3月の運営委員会にて報告する。

5 次期当番県の決定について

次期当番県は岡山県に決定した。定例総会は2019年9月7日に行われる予定。

6 その他

電子カルテの導入が増えていくと、1人の医師に対し1人の医療秘書は必須。認定校と非認定校の差別化を図ることも重要である、との意見があった。

日医より、医師事務作業補助において、日医の認定医療秘書は非常にレベルが高いということが十分に周知されていないということとを今回改めて認識した、との返答があった。

現状、勤務医の負担軽減について医療秘書が切り札と思われるが、医師でなければできない作業とそうでない作業について、明確に見分けられる仕組みを作ることができれば、推進されると思われる。IT、AIにより、医師としての判断が問われる時代となってくる。そんな中、医師の作業をサポートする存在が重要になってくるということ、繰り返し伝え、医療秘書が魅力のある仕事であることを若い人へアピールしていくことも重要。1人の医師に1人の医療秘書は推進していただきたい、との意見があった。

総 括

日医常任理事 釜 范 敏

今年度から、日医医療秘書認定試験は課程を

統一した試験となる。

医師の働き方改革の話が協議の中でも出ているが、業務負担軽減の中で、医療秘書の活用は有用という認識が行き渡ってきたように感じる。即戦力として優秀な医療秘書を養成していると自負している。

先生方においては、医療機関において良い条件で、医療秘書として採用されるよう周知をお願いしたい。日本医師会としても重きを置いて推進していきたい。

次期当番県医師会長挨拶

岡山県医師会長 松山 正春

来年の定例総会は、2019年9月7日(土)に岡山

県のホテルグランヴィア岡山にて開催する予定である。また、次々県は群馬県に内定している旨、報告があった。

閉 会

宮崎県医師会常任理事 池井 義彦

出席者－河野会長、山村副会長、池井常任理事、
牧野課長、鳥井元課長補佐、
横山主事、本崎主事、
杉田医師国保組合事務長心得、
久保様(宮崎学園短期大学)、
福元様(宮崎医療管理専門学校)、
吉原様(都城コアカレッジ)

10月のベストセラー (宮崎県)

集計：2018年10月1日～10月25日

1 下町ロケットヤタガラス	池 井 戸 潤	小 学 館
2 木枯らしの	佐 伯 泰 英	光 文 社
3 頭に来てもアホとは戦うな！	田 村 耕 太 郎	朝日新聞出版
4 コーヒーが冷めないうちに	川 口 俊 和	サンマーク出版
5 ホモ・デウス①	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社
6 沈黙のパレード	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
7 自衛隊防災BOOK		マガジンハウス
8 極上の孤独	下 重 暁 子	幻 冬 舎
9 すぐ死ぬんだから	内 館 牧 子	講 談 社
10 日々是好日	森 下 典 子	新 潮 社

－ 各種委員会－

健康スポーツ医学委員会

と き 平成30年10月4日(木)

ところ 県 医 師 会 館

帖佐理事の司会により開会，河野会長の挨拶に続き，本会全理事協議会において本委員会委員長に田中俊正先生，副委員長に松村隆先生の就任が承認されたことが報告された。次に河野会長から諮問事項『「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト」への協力について』が示され，任期中に協議・答申することとなった。その後，田中委員長の進行で報告・協議が行われた。

報 告

1 平成29年度県民健康セミナーについて

平成30年2月25日に開催した県民健康セミナー「健康寿命，日本一を目指そう！」について報告があった。

2 平成29年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

平成30年2月2日に開催した県医健康スポーツ医学セミナーについて報告が行われた。

協 議

1 平成30年度県民健康セミナーについて

本年度の同セミナーは，平成31年2月24日(日)に宮崎県医師会創立130周年記念医学会と同時開催することが報告された。本年度も健康スポーツ医学委員会から講演を1題提案して行うことが承認され，東京オリンピック・パラリンピックをテーマとして宮崎にゆかりのあるトップアスリートを講師とすることが決定した。

2 平成30年度県医健康スポーツ医学セミナーについて



テーマ，講師等について各委員から意見が出され検討を行い，女性のスポーツ医学をテーマにした演題で行うことが決定し，日程については平成31年1月16日(木)に開催することが承認された。

3 宮崎県スポーツドクター連盟について

平成29年度の歳入歳出決算，平成30年度事業計画・予算について協議し承認された。

4 諮問事項「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト」への協力について

県，市町村，民間の関係団体等で組織される「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議」への積極的な参加，『スポメディネット』の再周知，ドーピング防止のための医療機関への情報提供等について検討していくことが承認された。

出席者－田中委員長，松村副委員長，

柳田・名越・比嘉・河野(秀)委員

(県医)河野会長，濱田副会長，川野・

帖佐・園田理事，牧野課長，本崎主事

九州医師会連合会第373回常任委員会

と き 平成30年10月 6 日(土)

ところ 城山ホテル 鹿児島

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

鹿児島県医師会長 池田 琢哉

3 報 告

1) 第118回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について (鹿児島)

出題並びに記念行事の参加状況について報告があり、追加も可能なので積極的に参加いただくよう再度の依頼があった。

2) その他

4 協 議

1) 九州医師会連合会第374回常任委員会並びに第116回臨時委員総会(11月17(土)鹿児島市)の開催について(鹿児島)

原案どおり常任委員会は、16時から臨時委員総会は17時から城山ホテル鹿児島で開催することが了承された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月17(土)鹿児島市)における日本医師会に対する質問・要望事項について(鹿児島)

宮崎県及び長崎県医師会から控除対象外消費税問題への対応、鹿児島県医師会から社会保障費、特に医療費の財源確保について出された項目を日本医師会に対する質問・要望事項とすることが了承された。

3) 第118回九州医師会連合会総会の宣言・決議(案)について(鹿児島)

各県からの修正意見を基に協議され、宣言、決議文とも文言の一部修正を行った上で総会に諮ることが承認された。



4) 九州医師会連合会第375回常任委員会、第2回各種協議会(平成31年2月2日(土)鹿児島市)の開催について(鹿児島)

日程については、原案通り了承された。また、各種協議会の開催種目については、後日各県に照会するとのことであった。

5) 平成30年台風21号並びに北海道胆振東部地震に係る見舞金について(鹿児島)

これまでの九医連災害見舞金に関する申し合わせどおり、各県5万円、九医連から10万円を加えた計50万円を北海道に30万円、大阪府に20万円送ることが決定された。

6) その他

5 その他

1) 九州ブロック選出・日本医師会各種委員会委員名簿の最終結果一覧表が担当の鹿児島県医師会より提出され、希望された委員会に就任できなかった方もおられるが了承いただきたいとの報告がなされた。

2) 福岡県医師会より平成31年2月16日に専門医共通講習会としてHIV医療講習会を開催する旨案内があった。

出席者－河野会長、山内事務局長

お知らせ

宮崎県医師会グループ保険
新規加入者募集中！

保険料がさらにお安くなりました！

【例1】50歳女性・保険金4,000万円に加入

旧保険料7,600円/月 ⇒ 新保険料7,080円/月

差額 520円

【例2】50歳男性・保険金4,000万円に加入

旧保険料11,680円/月 ⇒ 新保険料9,400円/月

差額2,280円

グループ保険ってどんな保険？



その1 割安な保険料で最大4,000万円と、大きな保障

その2 1年毎の収支計算で剰余金が発生したら、配当金をお支払い

その3 宮崎県医師会の会員のために作られた保険

その4 医師の診査不要(告知のみで加入可)

さらに、生命保険は相続税の節税対策としても活用できますので、
是非この機会にグループ保険への加入をご検討ください！



新規加入は50歳6ヶ月迄 現在約400名が加入中!!

お申込み・お問合せは…

グループ保険募集事務担当

宮崎県医師協同組合まで

TEL 0985-23-9100

FAX 0985-23-9179

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d, e	e	a	b	b, c, e	c	d, e	c	b	c

日医インターネットニュースから

■市町村国保医療費，地域差は1.34倍 — 厚労省・16年度集計 —

厚生労働省は10月2日までに，2016年度の医療費の地域差分析を公表した。医療費の地域差を表す指標「地域差指数」（1人当たり医療費について，人口の年齢構成の相違分を補正し，全国平均を1として指数化したもの）を見ると，市町村国保の医療費が最も高かった都道府県は佐賀で1.204，最低は茨城で0.898で，1.34倍の差があった。

高かったのは鹿児島(1.172)，長崎(1.157)，山口(1.145)，大分(1.144)と続いた。低かったのは愛知(0.915)，千葉(0.918)，栃木(0.921)，埼玉(0.922)となった。最高の佐賀と最低の茨城は過去5年間変わっていない。後期高齢者医療制度の医療費では最高が福岡の1.217，最低は岩手の0.803で，差は1.52倍だった。

●17年度の速報値でも傾向は変わらず

電算処理分を基にした，速報値に当たる17年度の医療費の地域差分析も初めて公表した。地域差指数を見ると，市町村国保の医療費が最も高かったのは佐賀の1.193，最低は茨城の0.890で16年度と傾向は変わらなかった。後期高齢者医療制度の医療費も同様に最高が福岡の1.206，最低が岩手の0.804だった。(平成30年10月5日)

■「JMAジャーナル」の第1号を発行 — 日医・日本医学会 —

日本医師会と日本医学会は，英文の総合学術誌「JMA JOURNAL (ジャーナル)」を創刊し，9月28日に第1号を発行した。京都大iPS細胞研究所の山中伸弥所長らがまとめたiPS細胞技術の臨床応用に関する論文など，約10本の論文を掲載している。

国内だけでなく，世界中から優れた研究結果を収載することで，国際社会で広く共有されるジャーナルを目指す。共同編集長は杏林大の跡見裕名誉学長と聖路加国際病院の福井次矢院長，副編集長は国立成育医療研究センターの

五十嵐隆理事長が務める。またアドバイザーボード・メンバーには，ノーベル医学生理学賞に選ばれた本庶佑・京都大特別教授が加わっている。

臨床医学，基礎医学，公衆衛生学をはじめ，医学に関する全領域の研究論文を扱う。日医の羽島裕常任理事は10月10日の記者会見で「医療政策やオピニオンなどの論文も幅広く受け付ける方針だ」と説明。また「JMAジャーナルは，オープン・アクセスジャーナルとして，ウェブサイトより無料で全文を読むことができる。現在は投稿料，購読料は徴収せず，会内予算のみで発行している。当面は費用徴収しない」とアピールした。

発行形態はオンラインだが，第1号と第2号(来年3月に発行予定)は，紙媒体も発行する。第1号は，近く日医のホームページにも掲載される予定。

横倉義武会長は同日の記者会見で，第1号には，山中所長ら国内トップクラスの研究者の論文が掲載されていると説明。「大変立派なスタートを切れた。著名な海外誌は投稿料が高くなっている。日本の良い論文を投稿しづらい環境にあるので，JMAジャーナルをレベルアップしていくことによって，国際的に評価の高い学術誌にしていきたい」と話した。

(平成30年10月12日)

■初のアレルギー情報サイトを開設 — 厚労省・アレルギー学会 —

厚生労働省と日本アレルギー学会は10月19日，国として初めてのアレルギー情報サイト「アレルギーポータル」<https://allergyportal.jp/> を開設した。

サイトでは，疾患の特徴や治療方法などアレルギー疾患の基礎知識や，専門医を検索できる日本アレルギー学会のホームページなどを紹介している。

このほかサイトでは，災害が起こった際にアレルギー疾患のある人への対応をまとめたガイ

ドラインや、政府が策定したアレルギー対策に関する法令・指針が確認できるページも設けた。

厚労省は2017年に「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」を策定。指針は、アレルギー疾患の原因や予防法に関する膨大な情報がインターネットなどにあふれており、適切な情報を選択することが困難である現状を指摘した。

国が関係学会と連携してアレルギー疾患の病態や診断に必要な検査、適切な治療方法などについて最新の知見に基づいた正しい情報を提供することを目的に「ウェブサイトの整備等を通じ情報提供の充実を図る」ことも明記しており、今回のサイト開設はこの内容を受けたもの。

(平成30年10月23日)

■地域枠入試「別枠方式に限定」へ — 医師需給分科会 —

厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会・医師需給分科会」は10月24日、大学医学部の地域枠入試の方法を、一般枠と別枠の募集定員を設ける「別枠方式」に限定し、一般枠と共通で選抜して事前・事後に地域枠学生を募集する「手挙げ方式」を認めないことで合意した。手挙げ方式は地域枠の募集人数に対する確保率が悪い上、義務を履行せず離脱する人も多いため。文部科学省と協力し、早期の受験から適用する考えだ。

厚労省は会合で、全国の都道府県を対象に、自県が奨学金を貸与する地域枠の医学部生・医師の勤務状況を調べた結果を暫定報告した。

まず、地域枠学生の選抜方法に「別枠方式」と「手挙げ方式」があることを示した。別枠方式にはさらに、一般枠に先行して選抜する「先行型」と、一般枠と同時に選抜するが地域枠希望者を

区別して選ぶ「区別型」があると指摘。手挙げ方式には選抜に先立って地域枠の希望を募る「事前型」と、入学後に希望を募る「事後型」があるとした。

2008年度から18年度を通算した調査結果を見ると、「臨時定員と組み合わせた地域枠」では、別枠方式が募集数の91%に奨学金貸与実績がある(定員の確保ができている)のに対し、手挙げ方式では79%にとどまり確保率が悪かった。義務を履行せず離脱する人も、別枠方式では5%程度だが、手挙げでは14%に上った。

11年間の募集人数の合計は別枠が4466人、うち貸与実績は4050人。手挙げは2067人の募集に対し1639人。募集数の計6533人に対し確保したのは5689人。その差844人は地域枠を使っているものの、特定の地域での診療義務がない形で入学したとも言える。

18年の個別プログラムごとの充足・離脱の状況については本紙の取材の結果、筑波大は定員数10に対し奨学金貸与者数が1(充足率10%)、千葉大は20に対し3(15%)、東北大は33に対し18(55%)などであることが分かった。

●「地域枠の流用だ」 山口構成員

日医の今村聡副会長は「臨時定員増は偏在対策の要素が大きい。有効に機能してこなかった部分があるのかどうか検証すべき」と指摘。山口育子構成員(ささえあい医療人権センターCOML 理事長)は「手挙げ方式などと正当化したような名前だが、これは“ずる型”。地域枠の名前で確保した人数を一般枠で教育してきたということ。これはもはや大学の自治ではない。地域枠の流用だ」と切り捨てた。文科省高等教育局医学教育課の西田憲史課長は「大学に調査をしている。定員の設定の仕方なども議論できるように調査結果を報告したい」と答えた。

(平成30年10月26日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合事業について（概要）

1 購買事業

- ・「医療用消耗品(カタログ販売等)」…診察室等で使用する医療用品全般を組合員価格にてご案内いたしております(医薬品を除く)。
- ・「白衣」…ナガイレーベン・F O L K・モンブラン等は、通常価格の25%割引・キャンペーン時35%割引で販売いたします。
- ・「書籍」…医学書・一般図書を、書籍購入10%割引、医学雑誌の定期購読は5%割引等で販売いたします。
- ・「医療機器購入・リース契約」…医療機器購入やリース契約前に、医協にご相談いただければ、少しでも有利な条件設定になるよう努力いたします。
- ・「事務機器」…コピー機・シュレッダー・キャビネット・金庫・文具・その他事務機器、事務用品全般を組合員価格で提供いたします。
- ・「ギフト商品」…ミヤチク・妻木青果・みずなが水産と提携し、割引購入・送料無料サービスを行っており、お中元・お歳暮等に、ぜひ、ご利用ください。
- ・「電化製品」…ヤマダ電機花ヶ島本店・テックランド新都城店と提携し、割引を行っており、ご注文の際は医協に連絡ください。

2 カード取扱事業

- ・「メディカルカード(宮崎信販とJCBまたはVISA提携)」…ドクターとご家族、医療機関にお勤めの職員を対象とした割引特典のある限定カードです。山形屋では通常5%割引(特招会時7%割引)。年会費無料、新規作成・利用で5,000円のギフトカード付与。宿泊・レジャー・グルメなど全国20万か所で使えるクーポンや各種優待特典が利用できますので、従業員への福利厚生の一助としてもご活用ください。

3 保険事業

1) 損害保険

- ・「医師賠償責任保険」…万が一の医療過誤に備える保険であり、医療施設の建物や設備の不備等の医療施設特約が付帯されており、割引20%を適用。
- ・「所得補償保険」…病気やケガで働けなくなった場合の収入減に備える保険であり、割引は最高の30%を適用。無事故の場合は保険料の20%を返戻。
- ・「看護職賠償責任保険」…看護職が関与する医療事故において、看護職が連帯責任を問われるケースに対応する保険であり、割引25%（診療所5%）。
- ・「居宅賠償責任保険」…介護保険法・障害者総合支援法・社会福祉法の指定事業者向けの賠償責任保険。身体障害や財物損壊、受託管理財物の損壊、徘徊時の事故にも対応しており、割引5%。
- ・「医療機関用団体サイバー保険」…サイバー攻撃等により、医療機関が管理する診察記録・患者本人情報・過去の既往歴等の個人情報情報が漏えいした場合、被害者への損害賠償だけでなく、発生した費用、事故後の対策に必要な費用も補償し、割引20%。

- ・「傷害総合保険」…業務中及び日常生活でのケガを補償し、個人賠償責任補償も付帯されており、割引10%。
- ・「ゴルフ保険」…ゴルフ中の自身の傷害、第三者に対する賠償、用品の損害、ホールインワン・アルバトロス費用をお支払いし、団体割引は最高の30%を適用。
- ・「火災保険」…集団扱一時払い制度により割引5%。
- ・「自動車保険」…集団扱一時払い制度により割引5%。
- ・「クレーム対応費用保険」…日常診療において、クレーム・トラブルにより業務妨害を受けた際に、専門相談窓口へ電話での無料相談・アドバイスが受けられ、当事者間で解決が困難な場合は、弁護士の紹介、弁護士費用を負担。
- ・「医療事故調査費用保険」…2015年10月に施行された「医療事故調査制度」に則って医療事故調査・支援センターに事故発生の報告が受領されている事故が発生した場合の院内調査等の費用を補償する保険。対象は、100床以上の病院、99床以下の法人病院で管理者が日医A1会員以外及び診療所で管理者が日医A1会員以外の医療機関。
- ・「針刺し事故等補償プラン付傷害総合保険」…業務中に生じた偶然な血液曝露事故により、HBVに感染後、発病・治療で30万円、HCV感染の場合300万円、HIV感染で1,000万円の保険金支払い。保険料は年間1人あたり最低で8,330円となっており、従業員への福利厚生の一助としてご活用ください。

2) 生命保険

- ・「宮崎県医師会グループ保険」…割安な保険料で最大4,000万円と大きな補償。剰余金が生じた場合配当金をお支払い。会員のために作られた保険で、医師の診査が不要で告知のみで加入できます。
- ・死亡時の備え…定期保険・終身保険・養老保険等。
- ・病気・ケガ・介護等の備え…医療保険・がん保険・介護保険等。
- ・教育・老後の備え…学資保険・個人年金保険等。
- ・事業保障・退職金準備の備え…定期保険・終身保険等。
- ・全国医師協同組合(JMC共済) …「休診共済」：安価な掛け金で休業を補償。
…「生命共済」：安価な掛け金で死亡を補償。

※生命保険については、ファイナンシャル・アドバイザーとして、医協と提携をしておりますリスクマネジメント・ラボラトリーと共同募集しております。

4 斡旋・集金事業

1) 斡旋部門

- ・「リース」…日医リース・日立キャピタル・リコーリース・宮銀リース等の提携先をご紹介します。
- ・「提携マンション」…県内：ダイワハウス・マリモとの提携により、購入価格の1%割引、首都圏：0.5～1%割引。
- ・「携帯電話」…ドコモショップと提携し、携帯・スマートフォンの新規購入・機種変更時に割引。
- ・「ボルボ車」…購入時最大15%割引。
- ・「広告看板設置」…ナビックスコーポレーションと提携し、見積無料、初回契約5%割引。
- ・「防水・塗装工事」…スイケンと提携し、見積無料、10%割引。

・「その他」…冠婚葬祭、ジャガー車・ランドローバー車5%割引等、いろいろな業種と提携しています。

2) 集金代行部門

- ・「医療廃棄物」…医師サービスセンター。
- ・「一般廃棄物」…宮崎衛生公社。
- ・「警備保障」…宮崎総合警備、セコム宮崎。
- ・「清掃・給食」…文化コーポレーション、南九州ダイケン。
- ・「消防点検」, 「植木・防虫等」。

5 ドクターバンク事業

厚生労働大臣の許可を受けた、ドクターの無料職業紹介事業。求人・求職の申し込みを受け、雇用関係成立を斡旋。県と連携して宮崎県庁ホームページから医療機関情報が今年度中に閲覧可能となり、県内医師だけでなく、全国の医師が閲覧可能となります。

6 教育情報事業

・「医療安全対策セミナー（宮崎県医師会医療安全研修会）」…医療安全管理の体制確保として、医療機関が従業者に対する研修として実施しなければならない、医療安全研修会を年2回開催。

・「医療メディエーター養成研修会」…患者・家族と医療機関の間で生じる様々な問題等について、対話を通じて協動的かつ柔軟に解決していこうとする「医療コンフリクト・マネジメント」の考えにより、紛争対応・苦情窓口等の担当者を中心として、メディエーターの養成に取り組んでいます。

・「奥様医業経営塾」…弁護士・税理士・労務士・司法書士・ファイナンシャルプランナー等による講座で、「マネー・リスク対策」, 「税務・会計」, 「労務」, 「承継・相続」の各講座を、8名程度の少人数の奥様を対象に実施。

・「奥様医業経営塾特別セミナー」…年1回、奥様医業経営塾の卒業生を中心に開催。

・「医療機関経営セミナー」…「医療法人の事業承継税制、医療と消費税」等について、日医今村副会長および日医有床診委員会委員等による講演を数年実施。

7 共済事業

・「小規模企業共済」…事業主のための退職金積立制度(法人は加入不可)。(事業主から法人になられた際は、それまでの掛け金が全額退職金として支給される)

・「中小企業退職金共済」…従業員のための退職金積立制度。

※医師協同組合では、組合員、賛助会員の先生方に様々な事業を展開しております。いつでもご相談いただけますので、お電話等でお問い合わせください。

連絡先：宮崎県医師協同組合

T E L 0985-23-9100

F A X 0985-23-9179

E-mail : isikyout@miyazaki.med.or.jp

医師国保組合だより

医師国保組合 保健事業のご案内

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※上記対象者は自院で実施されても請求できます。 費用については、送付しております「健康診断個人票」の検査項目に対して助成します。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。 但し、子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。 (予約は当組合に直接お電話ください) ①実 施 日： 平成31年1月20日(第3日曜日)、2月3日(第1日曜日)、2月17日(第3日曜日)、 3月3日(第1日曜日) ②定 員：各30名

2 インフルエンザワクチン接種補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
補助金額	1人1回2,000円(高齢組合員は1,000円)
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

3 低線量ヘリカルCT肺がん検診

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
実施機関	組合にて委託している県内35医療機関(平成30年10月末現在)
申 込・ 受診方法	①医療機関へ受診の予約をしてください。 ②検診当日は、受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。 ※自己負担はございません。

4 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助 | 2) 脳ドック等の補助 |
| 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助 | 4) 歯科健康診査 |

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

**平成30年9月4日(火)第13回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 医療安全に関するワークショップの開催について**

毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む一週間を「医療安全推進週間」と位置付けシンポジウムの開催等を通じて普及活動を行っているもので、本会も周知活動に協力することが承認された。

2. 9/12(水)・13(木)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる監査で、9/12荒木常任理事、9/13岩村理事を立会人として派遣することが承認された。

3. 12/13(木)平成30年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について

日医医賠責保険の経過報告や医事紛争に関する講演等が行われる協議会で、小牧常任理事が出席すること承認された。また、TV会議システムを通じて参加ができるため、各郡市医師会に案内することとなった。

4. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県医療介護推進協議会委員の推薦について

→本県の医療・介護行政を推進していく上で重要な事項を協議するために設置される協議会で、河野会長と濱田副会長を推薦することが承認された。

5. 10/6(土)(鹿児島)九州医師会第373回常任委員会の提案事項について

役員で提案事項等があれば今週中に事務局に申し出ること及びその取扱いは出席する河野会長に一任することが承認された。

6. 九州医師会連合会・九州各県医師会役員合同協議会(11月17日(土))における横倉日本医師会長講演「中央情報報告」への要望事項等について

役員で質問や要望事項等があれば今週中に事務局に申し出ること及びその判断は河野会長に一任することが承認された。

7. 後援・共催名義等使用許可について

①11/20(火)過労死等防止対策推進シンポジウムの後援名義使用承認申請について

→11月の過労死等防止啓発月間に合わせ、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現を目指し開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

8. 10/10(水)平成30年度都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会開催について

本年5月に施行された「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律(通称：次世代医療基盤法)」への対応等を協議するために開催される協議会で、荒木常任理事と嶋本理事が出席することが承認された。

9. 業務委託について

①救急医療施設医師等研修事業の委託契約について

→救急医療を担当する医師の知識と技能向上を図ることを目的に、ICLS指導者養成ワークショップ及びACLS研修会等を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

10. 地域医療介護総合確保基金に係る事業提案(医療関係)について

県行政の依頼により「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業」に関する提案を、各郡市医師会、

各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に、9月末を締切りに照会することが承認された。

また、「病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」に関する意向調査を、各郡市医師会を通じて医療機関に行うことが重ねて承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8月末日現在の会員数について
3. 8/29(水)(メリージュ)県総合計画審議会専門部会について
4. 9/3(月)(宮舘ホテル)宮大医学部5年生未来の医療を語り合う全員交流会について
5. 9/1(土)(県医)県医師会医学会について
6. 8/29(水)(東京)東京女子医科大ファミサポスキルアップ研修会について
7. 9/4(火)(県医)治験審査委員会について
8. 8/31(金)(東京)地域医療構想アドバイザー会議について
9. その他
 - ① 8/29(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
 - ② 宮崎県医師会職員の退職及び採用について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/6(土)(ひまわり荘)支部長会の開催について
第19回統一地方選挙の公認・推薦について協議する支部長会で、当日九医連の会議と重なっていることから、出席者について再調整することが承認された。
2. 11/25(日)(東京)「全国医師会・医師連盟医療政策研究大会」開催について
日医の医療政策や医政活動の重要性を理解することを目的に初めて開催される大会で、河野委員長と吉田常任執行委員の出席と、郡市医師連盟の出席者等の取りまとめに協力することが承認された。

平成30年9月18日(火)第14回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ① 宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について
→委員の確認依頼があり、高齢者虐待防止連絡会議の委員でもある石川常任理事を推薦することが承認された。
- ② 宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について
→本会の役員改選に伴い、現委員の任期途中ではあるが、担当が変更したことから、地域医療担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。
- ③ 「東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議」に係る委員の推薦について
→本会の役員改選に伴い、現委員の任期途中ではあるが、担当が変更したことから、地域医療担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。

2. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「医師会共同利用施設検討委員会」の委員に山村副会長、「勤務医委員会」の委員に金丸常任理事、「定款・諸規程検討委員会」の委員に立元理事、「医師会将来ビジョン委員会」の委員に大塚理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

3. 平成30年度宮崎県総合防災訓練に係る多数死体検視等訓練への参加依頼について

県総合防災訓練の中で、検視・検案訓練に参加する隊員を指導する医師の派遣要請があり、県警察医会に人選を依頼することが承認された。

4. 宮崎県がんサロン等運営支援事業「がん患者と家族のためのサポーター養成講座」に関わる会場借用のお願いについて

会場の確保が困難なことから日曜日の県医師会館貸出を求めるもので、県の委託事

業ということもあり内容等には問題はないが、一定の基準が必要ではないかとの意見が出され、継続審議とすることとなった。

5. 宮崎県福祉保健部・病院局と宮崎県医師会との意見交換会の開催について

11月13日(火)に意見交換会を開催することが決定し、その後のスケジュール等の確認が行われた。県に対する要望については、担当役員を決定すると共に各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることが承認された。

6. 12/9(日)(日医)平成30年度女性医師支援担当者連絡会の開催について

女性医師支援に関する特徴的・先進的取り組み等について情報共有することを目的に開催する連絡会で、荒木常任理事と金丸常任理事が参加することが承認された。

7. JMAT研修基本編および統括JMAT編の開催について

災害への備えを十分なものとし、かつ被災地の医療支援活動の充実に資することを目的に開催する研修で、佐々木(幸)常任理事と米澤理事が参加することが承認された。

8. 平成30年度宮崎県感染症危機管理研修会(予防接種実務担当者研修を含む)について

県内の医師及び看護職員、市町村等の予防接種・感染症担当者等を対象に、予防接種に係る最新の知見、麻しん対策等の講演を行う研修会で、テレビ会議システムの利用等を含め共催することが承認された。

9. 9/27(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の集团的個別指導等の実施に係る立会について

41医療機関を対象に行われる講演会形式の集团的個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9/6(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について

3. 9/15(土)(県医)日医生涯教育協力講座セミナーについて

4. 9/6(木)(県医)保育支援事業打合せ会について

5. 9/11(火)(わらしべ)土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換会について

6. 9/12(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について

7. 9/12(水)(県医)広報委員会について

8. 9/15(土)(宮観ホテル)保育支援事業スキルアップ研修会/全体顔合わせ会について

9. 9/13(木)(県医)医療勤務環境改善支援セミナーについて

10. 9/10(月)(県医)県糖尿病対策推進会議幹事会について

11. 9/8(土)(県医)園医部会総会・研修会について

12. 9/7(金)(県医)認知症サポート医フォローアップ研修会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 自由民主党総裁選挙について

2. 9/14(金)(宮観ホテル)三師会懇談会について

3. 9/15(土)(メディキット県民文化センター)自由民主党宮崎県政経セミナー 2018について

平成30年9月25日(火)第7回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による会費減免1名(日医・県医)と高齢による会費減免5名(日医のみ4名、県医のみ1名)が承認された。

2. 業務委託について

①高次脳機能障がい講演会の業務委託契約について

→医療機関の診断技術の向上に資することを目的に、本会のテレビ会議システムを利用し講演会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

②難病患者及びアレルギー疾患患者の診療体制状況調査業務の委託契約について

→難病及びアレルギー疾患の地域の実情に応じた診断技術の向上に資することを目的に、アンケート調査等を行う事業で、契約を締結することが承認された。

③平成30年度高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について

→県内の高齢者が当該市町村以外での予防接種が可能となるため、接種料金4,271円から各市町村の自己負担額を除いた委託料及び予診票1件あたり200円の事務手数料で、市町村と契約を締結することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県メディカルコントロール協議会委員の推薦について

→本県の消防と救急医療機関の連携強化等を目的に設置される協議会で、任期の途中ではあるが、本会の役員変更に伴い、山村副会長と佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県障がい者差別解消支援協議会委員の推薦及び就任承諾について

→障がいを理由とする差別や不利益な取り扱いを審議する協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県障害者施策推進協議会の委員を務める山村副会長を推薦することが承認された。

③宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の委嘱(更新)について

→宮崎大学医学部が行う直接人間を対象とした医学の研究において、倫理的配慮を図ることを目的に設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元理事を推薦することが承認された。

④宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委員の委嘱(更新)について

→再生医療等の安全性の確保に関する法律に関連する委員会で、任期満了に伴

う推薦依頼があり、引き続き立元理事を推薦することが承認された。

4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「公衆衛生委員会」の委員に吉田常任理事、「予防接種・感染症危機管理対策委員会」の委員に峰松理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

5. 10/2(火)(宮観ホテル)宮崎大学医学部教授等との懇談会について

役員役割分担及び進行スケジュール並びに出席者の最終確認が行われた。

6. 10/9(火)(県医)各都市医師会長協議会について

スケジュール及び提出議題等の最終確認が行われた。また、宮崎市郡医師会の「地域医療調整会議の活性化に向けた方策について」は金丸常任理事、延岡市医師会の「県立延岡病院の『看護師地域枠採用』に関する問題点について」は佐々木(幸)常任理事が回答することが承認された。

7. 2020年の九州医師会医学会の講師等について

2020年の11月に開催を予定している医学会について、役員に照会した結果、現時点で4名の講師と2つのアトラクションの案が出され、年内に決定することを目標に引き続き募集及び協議することが承認された。

8. 宮崎県がんサロン等運営支援事業「がん患者と家族のためのサポーター養成講座」に関わる会場借用のお願いについて

日曜・祝日の県医師会館借用について、

①申請団体、②事業内容、③借用する理由、④借用回数を基準に、職員の労務状況等総合的に判断し、役員会で承認を得たものだけを貸し出しすることを確認し、今回は許可することを承認した。

9. 平成30年度宮崎県総合防災訓練の参観について

大規模災害時の対応能力の強化等を目的に開催される防災訓練で、赤須理事及び大塚理事が参加することが承認された。

10. 10・11月の行事予定について

10月の追加行事等について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9/7(金)(宮観ホテル)宮崎銀行経営説明会について

3. 9/12(水)(支払基金)支払基金幹事会について

4. 9/18(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

5. 9/22(土)(シーガイア)全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会等について

6. 9/22(土)(県医)医療現場のワークライフバランスセミナーについて

7. 9/20(木)(日南市)社会保険医療担当者の個別指導について

8. 8/29(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

9. 9/13(木)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について

10. 8/30(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の新規個別指導について

11. 8/30(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 9/25(火)(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

協 議

1. 宮崎県議会自由民主党議員との意見交換会の開催について

11月9日(金)に「県政、国政に関する要望」を中心とした意見交換会を開催することが承認された。なお要望に関しては、7月に自民党県連に提出した「国・県への要望」と必要があれば補足資料を追加して対応することになった。

2. 「羽生田たかし後援会本部・支部」の設置について

組織的に活動するために、県医師連盟に本部、郡市医師連盟に支部を設置してほしいという依頼で、10/9の各郡市医師会長(連盟委員長)協議会で協力をお願いすることが承認された。

3. 「羽生田たかし」選挙における獲得得票数の目標設定について

市町村毎に積み上げ式の目標値を設定してほしいという依頼で、過去の得票数を参考にした目標値を検討すると共に、10/9の各郡市医師会長(連盟委員長)協議会で協力をお願いすることが承認された。

4. 「羽生田たかし」後援会活動における「リーフレット、サポーター名簿、室内用ポスター、名刺の発送と取扱い」について

広報物(①リーフレット、サポーター名簿、②室内用ポスター、③名刺)を利用して後援会活動に協力いただきたいという依頼で、本県のサポーター名簿獲得目標数17,000人を基に各郡市医師連盟の目標数を設定すると共に、10/9の各郡市医師会長(連盟委員長)協議会で協力をお願いすることが承認された。

5. 羽生田たかし後援会活動における具体的な支援活動について

本部支部の設置や得票及びサポーター名簿の獲得目標の他、「広報」、「挨拶廻り」、「集会の開催」等、具体的な支援活動に対する依頼で、10/9の各郡市医師会長(連盟委員長)協議会で協力をお願いすることが承認された。

(報告事項)

1. 9/18(火)(日医)都道府県医師連盟委員長会議について

2. 沖縄県知事選挙のお願いについて

県 医 の 動 き

(10月)

1	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事) 辞令交付式(会長)	17	宮崎県町村会政策懇談会(会長他) 宮崎県町村会意見交換会(会長他) 宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学 会特別講演会(会長)
2	宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との 懇談会(会長他) 第8回全理事協議会(会長他)	19	(佐賀)全国医師国保組合連合会全体協議会 (秦理事長他) (佐賀)全国医師国保組合連合会代表者会 (秦理事長)
3	(日医)日医産業保健委員会(佐々木常任理事) (日医)日医社会保険指導者講習会 (佐々木理事)	20	かかりつけ医認知症対応力向上研修会(TV 会議)(石川常任理事) (鹿児島)九州各県内科医会協議会諸行事産 業医研修会(実地)(川野理事)
4	健康スポーツ医学委員会(会長他) (日医)日医社会保険指導者講習会 (佐々木理事)	20 21	(福岡)九州医師協同組合連合会通常総会 (山村副理事長) 県小児科医会子ども健康セミナー (高村常任理事)
6	アイバンクサポーター講習会 (鹿児島)九医連常任委員会(会長) (鹿児島)九医連第1回各種協議会 (濱田副会長他) (鹿児島)九医連各種協議会報告会(会長他) 県警察医会総会・特別講演会	22	女性医師委員会(荒木常任理事他)
9	みやざき愛の献血運動推進県民大会(会長) 治験審査委員会(荒木常任理事他) 第9回全理事協議会(会長他) 各都市医師会長協議会(会長他)	23	医協理事会(河野理事長他) 第15回常任理事協議会(会長他)
10	宮崎大学医学部解剖体追悼式(濱田副会長) 支払基金幹事会(会長) 都道府県医師会情報システム担当理事連絡 協議会(荒木常任理事他) (日医)日医医師会共同利用施設検討委員会 (山村副会長) (日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事)	24	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 (池井常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他)
11	県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事) (日医)産業保健活動推進全国会議 (佐々木常任理事) (都城)労災診療費算定実務研修会	25	(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会 (立元理事) 健康教育委員会(会長他) (宮崎市)社会保険医療担当者の個別指導 (佐々木理事)
12	広報委員会(荒木常任理事他) (日医)日医小児在宅ケア検討委員会 (高村常任理事) 保険指導に関する打合せ会(会長他) 労災診療費算定実務研修会	26	(鹿児島)九医連学校医会評議員会・総会 (会長他)
13	ICLS指導者養成ワークショップ 病院部会・医療法人部会合同研修会 (池井常任理事)	27	県整形外科医会研修会 (鹿児島)全国学校保健・学校医大会(兼九 州ブロック学校保健・学校医大会)(会長他)
14	ACLS研修会 (日医)JMAT研修 基本編(佐々木常任理事他) (日医)医療安全推進者養成講座講習会 (荒木常任理事) 宮崎市郡医師会病院等移転新築工事起工式 (会長他) 県小児科医会秋季学術講演会(高村常任理事) 県小児科医会役員会(高村常任理事) (県内各会場)県総合防災訓練(赤須理事他)	28	(福岡)eレジフェア(金丸常任理事) (鹿児島)九州学校検診協議会幹事会 (高村常任理事) (鹿児島)九州学校検診協議会専門委員会 (高村常任理事)
		29	医療保険請求事務実技試験 勤務医部会理事会(山村副会長他) 在宅医療研修会企画小委員会(石川常任理事)
		30	みやざき東京オリンピック・パラリンピック おもてなしプロジェクト連携会議(帖佐理事) 県高齢者虐待防止連絡会議(石川常任理事) 地域医療における働きやすい環境を考える 会学生向けセミナー(金丸常任理事)
		31	労災診療指導委員会(川野理事) 宮崎県立看護大学の県内就職に関する検討 会(仮)(岩村理事他)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年10月10日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	4	2	2
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 65人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 30 年 度	1	2	3
平成16年度から累計	47	18	65

3. 求人登録 93件 346人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	102	79	23	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	13	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	12	11	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	11	8	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	346	272	74

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内,胃内,消内,呼内,循内 (いずれか)	1	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外, 眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年10月10日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 1,400.48㎡(424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 829.40㎡(251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前： _____

ご所属： _____

TEL： _____ FAX： _____

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年10月26日

11			月		
1	木	9:05 医療保険請求事務実技試験 13:00 医療保険請求事務実技試験 13:00 (日医)日医設立記念医学大会 19:00 医師国保組合理事会 19:30 宮崎市との妊婦健診等に関する協議会	16	金	16:00 (鹿児島)九医連常任委員会 17:00 (鹿児島)九医連臨時委員総会
2	金	13:30 (東京)女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議	17	土	8:00 県産婦人科医会 ALSOプロバイダーコース 10:00 (鹿児島)九医連委員・ 九州各県役員合同協議会 13:00 (鹿児島)九州医師会総会・医学会
3	土	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会 10:00 (長崎)全国医師会勤務医部会連絡協議会 16:00 (北海道)全国医師協同組合連合会通常総会	18	日	8:00 県産婦人科医会 ALSOプロバイダーコース (鹿児島)九医学分科会・記念行事
4	日	8:30 事務所開き 9:00 (北海道)全国医師協同組合連合会通常総会	19	月	19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診 研修会)(TV会議)
5	月	19:00 県産業保健連絡協議会・県産業 医研修連絡協議会(三者協議会)	20	火	15:00 (日医)都道府県医師会長協議会 18:30 (東京)参議院議員自見はなこ さんを励ます会 19:00 医療安全対策セミナー(TV会議)
6	火	15:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 18:00 治験審査委員会 19:00 第16回常任理事協議会 終了後 母体保護法指定医師審査委員会	21	水	19:00 広報委員会
7	水	14:00 県訪問看護推進協議会 17:00 県慢性腎臓病対策推進会議代表者会議	22	木	
8	木	18:30 宮崎銀行との懇親会 19:00 介護保険委員会 19:30 県産婦人科医会常任理事会	23	金	(勤労感謝の日) 9:00 医療メディエーター研修会(基礎編)
9	金	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 18:30 県議会自由民主党との意見交換会 19:00 県外科医会秋期講演会	24	土	9:00 医療メディエーター研修会(基礎編)
10	土	14:00 (長崎)女性医師支援センター事業九州ブロック会議 14:30 産業医研修会(TV会議)	25	日	12:30 (東京)全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会 16:00 (東京)参議院議員羽生田 たかし君を励ます会
11	日	13:30 世界糖尿病デー市民公開講座	26	月	18:30 医協会計監査 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診 研修会)(TV会議)
12	月	14:00 労災診療費算定実務研修会 18:00 県HTLV-1母子感染対策協議会	27	火	18:00 医協理事会 18:30 第11回全理事協議会 19:00 県医連執行委員会
13	火	18:30 第10回全理事協議会 19:20 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	28	水	15:00 労災診療指導委員会
14	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会	29	木	13:00 情報通信訓練/衛星利用実証実 験(南海トラフ大震災想定訓練) (日医TV会議) 19:00 県感染症危機管理研修会 (TV会議)
15	木	13:30 (東京)国保組合被保険者全国大会 13:30 社会保険医療担当者の個別指導 19:00 日医社保指導者講習会復講(TV会議) 19:00 救急災害医療対策委員会	30	金	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委 員会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ 医スキルアップ研修会(TV会議)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年10月26日

12			月			
1	土	13：00 (日医)家族計画・母体保護法指導者講習会	15	土	9：00 指導医のための教育ワークショップ 14：00 県産婦人科医会 J-CIMELSベーシックコース 15：00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)	国保審査
2	日	11：15 (東京)全国有床診療所連絡協議会役員会				
3	月	19：00 県医中間監事監査				
4	火	18：30 第12回全理事協議会 19：20 各都市医師会長協議会	16	日	8：00 指導医のための教育ワークショップ 9：00 県産婦人科医会 J-CIMELSベーシックコース	
5	水	19：00 自殺対策うつ病研修会(TV会議)				
6	木	19：00 宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員会との勉強会)	17	月		
7	金	13：00 (日医)日医医師会共同利用施設検討委員会 19：00 向精神薬の長期処方に関する研修会(TV会議)	18	火	18：30 第13回全理事協議会※予定	
			19	水	19：00 広報委員会	
8	土	13：30 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 18：00 県産婦人科医会全理事会	20	木	19：00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会	社保審査
			21	金		
9	日	10：00 (日医)女性医師支援担当者連絡会	22	土		
10	月		23	日	(天皇誕生日) 12：30 (福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部臨時役員会	
11	火		24	月	(振替休日)	
12	水	13：30 宮大経営協議会 13：30 宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会) 15：40 宮大学長選考会議	25	火	19：00 第17回常任理事協議会	
			26	水	15：00 労災診療指導委員会	
13	木	13：30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会	27	木		
			28	金		
14	金	18：30 指導医のための教育ワークショップ打合せ会 19：00 広報委員会	29	土	(年末休業)	
			30	日	(年末休業)	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	月	(年末休業)	

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回地域連携パスを考える会 11月1日(木) 19:00～20:25 都城ロイヤルホテル	あなたにもできる骨粗鬆症リエゾンサービス ー病院・診療所の役割と治療継続のコツー 鶴上整形外科リウマチ科 院長 鶴上 浩	61 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 ※都城医療センター ☎0986-23-4111 ◇共催 中外製薬(株) ◇後援 都城市
第5回循環器医療連携の会 11月1日(木) 19:00～20:30 ホテルJALシティ宮崎	おさえておきたい心不全診療のポイント ーガイドラインを読み解くー 九州大学医学研究院 循環器内科学 教授 筒井 裕之	24 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 古賀総合病院 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287
第23回宮崎県呼吸ケア研究会 11月3日(土) 15:00～18:00 宮崎市民プラザ 参加費：500円	会員発表：多職種で関わる呼吸リハビリテーション，他 宮崎大学医学部附属病院 看護部 武田 久美子 他	10 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 宮崎県呼吸ケア研究会 ◇共催 帝人ファーマ(株) ※帝人在宅医療(株) ☎0985-25-6613 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県臨床工学技士会
	聴診について 潤和会記念病院 呼吸器内科 作 直彦	11 (0.5)	
	実臨床を踏まえた呼吸管理ー HFNCを中心にー 大垣市民病院 呼吸器内科 医長 白木 晶	45 (0.5) 73 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 11月7日(水) 19:10～20:20 ホテルベルフォー ト日向	2型糖尿病治療のエッセンス ーインクレチン関連薬とSGLT2阻害薬の活かし方ー 潤和会記念病院 糖尿病・代謝内科 部長 水田 雅也	76 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0985-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 MSD(株) アステラス製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 11月8日(木) 19:00～21:00 県医師会館	健康診断結果に基づく事後措置の事例検討 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年度宮崎県 外科医会秋期講演 会(日本臨床外科 学会地方会) 11月9日(金) 19:00～20:00 県医師会館	日本臨床外科学会の活動と日本の医療情勢について(仮) 日本臨床外科学会 副会長 北多摩病院 院長 万代 恭嗣	6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-23-9100
南那珂医師会生涯 教育医学会 11月9日(金) 19:00～20:15 南那珂医師会館	逆流性食道炎 Up to date ー今、求められるPatient Reported Outcomeー 順天堂大学医学部 消化器内科 教授 永原 章仁	52 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 大塚製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医 研 修 会【TV会 議】 11月10日(土) 14:30～18:30 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	化学・生物テロ災害への最新の医療対応 横浜病院 病院長 首都大学東京 客員教授 箱崎 幸也	7 (0.5) 8 (0.5) 10 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	アルコールと健康：個別化健康増進に向けて 和歌山県立医科大学医学部 公衆衛生学教室 教授 竹下 達也	0 (0.5) 1 (0.5) 4 (0.5) 82 (0.5)	
	メカニクスから見た早期変形性膝関節症の病態と治療 介入の可能性 新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科 教授 大森 豪	61 (0.5) 62 (0.5)	
	肩の鏡視下手術の実際ースポーツ選手の治療を含むー 同愛記念病院 副院長 中川 照彦	57 (0.5) 61 (0.5)	
第27回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー 11月10日(土) 15:25～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円	成人脊柱変形に対するLIFとPPSによる変形矯正術 ーその理論と実際そして今後の展望ー 関西医科大学 整形外科科学講座 教授 齋藤 貴徳	60 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
江南医療連携の会 特別講演会 11月10日(土) 15:30～17:30 宮日会館	宮崎江南病院外科の現状について 宮崎江南病院 外科 診療部長 秦 洋一	0 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎0985-52-4004
	「地域医療」を取り巻く環境から考える 鹿児島大学 医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 地域医療学分野離島へき地医療人育成センター 教授 大脇 哲洋	12 (1.0)	
平成30年度日本医 師会社保指導者講 習会復講【TV会 議】 11月15日(木) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	わかりやすい感覚器疾患 けいめい記念病院 耳鼻咽喉科 植木 義裕 佐々木眼科医院 院長 佐々木 究 古賀総合病院 皮膚科 帖佐 宣昭	36 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
		38 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月16日(金) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会: 2単位	63 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		5 (0.5)	
		11 (0.5)	
		76 (0.5)	
		82 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎臨床リウマチ カンファレンス 11月16日(金) 19:00～20:20 ガーデンテラス宮 崎	新時代の関節リウマチ治療 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 教授 竹内 勤	19 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
延岡医学会(第55 回宮崎県北地区整 形外科医会学術講 演会) 11月16日(金) 19:00～21:10 エンシティホテル 延岡	神経障害性疼痛の診断と治療 宮崎大学医学部 整形外科 助教 比嘉 聖	63 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県北地区整形外科医会 ◇共催 延岡医学会 エーザイ(株) ファイザー(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	悪性軟部腫瘍の治療における注意点 久留米大学医学部 整形外科学教室 准教授 平岡 弘二	15 (0.5) 25 (0.5)	
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 11月16日(金) 19:00～20:00 グランドパティオ 都城	実地臨床での酸分泌抑制療法 ー GERDからDOACまでー 順天堂大学医学部 消化器内科 教授 永原 章仁	52 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)
宮崎市産婦人科医 会11月学術講演会 11月17日(土) 15:00～16:00 宮崎市郡医師会館	女性と漢方薬ー困ったときの次の一手ー 大分大学医学部 産科婦人科学講座 准教授 西田 欣広	54 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 宮崎市産婦人科医会 ◇共催 (株)ツムラ (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 11月19日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) (胃)	
	大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) (大腸)	
南那珂内科会医学 会 11月20日(火) 19:00～20:00 南那珂医師会館	睡眠障害と認知症 けいめい記念病院 脳神経外科 院長 岡原 一徳	20 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 南那珂内科会 ◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 小野薬品工業(株)
第29回児湯内科医 会学術講演会 11月20日(火) 19:00～20:00 ホテル四季亭	糖尿病治療と病診連携 国立病院機構宮崎病院 濱田 絵美	9 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 協和発酵キリン(株) (連絡先) ☎0983-22-1641 児湯医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第217回宮崎県泌尿器科医会 11月22日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル	BPHに対する低侵襲レーザー治療(PVP) 一当院における治療成績一 藤元総合病院 泌尿器科 診療科部長 長野 正史	66 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 キッセイ薬品(株)
	過活動膀胱治療に対する新たな一手 一新しいβ3受容体作動薬, 誕生一 札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座 教授 舩森 直哉	65 (1.0)	
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 11月22日(木) 19:00～20:10 ホテルベルフォー ト日向	実臨床におけるSGLT2阻害薬の有用性 一糖尿病における心腎連関を踏まえて一 横田内科 院長 横田 直人	76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 第一三共(株) 田辺三菱製薬(株)
第12回はまゆう整形外科セミナー 11月24日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル	手・手指骨折の外来診療 一機能障害予防のためのポイント一 くろき整形外科 院長 黒木 龍二	57 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部 整形外科教室同門会 ☎0985-85-0986
平成30年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会(がん検診指定研修会)【TV会議】 11月26日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) ⑦	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) ⑩	
	胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) ⑪	
	大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) ⑫	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 感染症危機管理・ 予防接種実務担当 者研修会【TV会議】 11月29日(木) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】※申請中 予防接種関係(最新の知見等について) (仮) 日本ワクチン産業協会 上村 浩	11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県 (連絡先) 宮崎県健康増進課感染症対策室 ☎0985-44-2620
	【専門医共通講習－②感染対策(必修)】※申請中 感染危機管理体制関係(麻しん等の対策について) (仮) 沖縄県立中部病院 感染症内科 椎木 創一	8 (0.5) 26 (0.5)	
宮崎木曜会年末学 術講演会 11月29日(木) 19:15～20:15 MRT-micc	理想の酸分泌抑制法 －効果と安全性のバランスを求めて－ 愛知医科大学 消化器内科 教授 春日井 邦夫	52 (1.0)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 第一三共(株) ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150
第11回 認 知 症 サ ポート医・かかりつ け医スキルアップ 研修会【TV会議】 11月30日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	多剤投与の問題を考える －標準的治療とかかりつけ医のあり方を考える－ 大悟病院 認知症疾患医療センター センター長 三山 吉夫	29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
	大悟病院の(医療)連携の実例 大悟病院 認知症疾患医療センター 加藤 和男	29 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第181回 宮崎県眼科医会講習会 12月1日(土) 16:20～20:30 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	ドライアイの診かた, 考えかた Up date 杏林大学医学部 眼科学教室 教授 山田 昌和	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	眼科の仕事は, cureとcare 立川総合病院 眼科 主任医長 安藤 伸朗	36 (1.0)	
第77回宮崎整形外科懇話会 12月1日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費:1,000円	脆弱性に伴う股関節周囲骨折に対する新しい治療法 久留米大学医学部 整形外科科学教室 教授 白濱 正博	57 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
西臼杵地区学術講演会 12月5日(水) 19:00～20:00 ホテル高千穂	HP陰性時代の逆流性食道炎の治療 服部胃腸科 院長 櫻井 宏一	51 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大塚製薬(株) 武田薬品(株)
向精神薬の長期処方に関する研修会【TV会議】 12月7日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵(予定)】	不眠症治療の効率化をめざして 東京医科大学 睡眠学講座 教授 井上 雄一	20 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県精神科医会 宮崎県内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第218回 宮崎県泌尿器科医会 12月13日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル 参加費:5,000円	腎がんにおける「手術療法」のこれから… 一部分切除, 原発巣摘除, 術前療法— 宮崎大学医学部 泌尿器科学講座 教授 賀本 敏行	65 (1.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968
第4回 在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 12月13日(木) 19:00～20:00 県医師会館	終末期ケアのエビデンス 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア内科 内藤 明美	81 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
宮崎肝炎連携セミナー 12月13日(木) 19:00～20:40 宮崎観光ホテル	透析患者におけるC型慢性肝炎抗ウイルス治療の現状 宮崎医療センター病院 副院長兼消化器・肝臓病 センター長 宇都 浩文	15 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇共催 宮崎県肝疾患懇話会 ※アッヴィ合同会社 ☎03-4577-1145 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会
	腎機能低下例も含めたC型肝炎の最新治療 北海道大学医学研究院 内科学分野消化器内科学教室 特任助教 須田 剛生	73 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 12月15日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) (胃)	
	大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) (大腸)	
日医生涯教育協力 講座一超高齢社会 における高齢者の トータルケア【TV 会議】 1月12日(土) 15:00～18:15 宮崎県医師会館 【TV会議会場: 都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那 珂, 西諸】	高齢者診療におけるフレイル・サルコペニアの重要性 名古屋大学 医学系研究科地域在宅医療学・老年科学 教授 葛谷 雅文	12 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 日本医師会 第一三共(株)
	高齢者のトータルケアー認知症についてー 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆	10 (1.0)	
	高齢者の脳血管疾患について 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座脳神経外科学分野 講師 大田 元	73 (1.0)	
	超高齢社会における運動器疾患のケアーロコモティブシンドロームを中心にー 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科外科学分野 教授 帖佐 悦男 生活習慣病に関する宮崎県の取組について 宮崎県福祉保健部 次長 日高 良雄		

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月17日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月24日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この1年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月25日(金) 19:00～21:00 県医師会館	心療内科・精神科連携における留意点(2) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 9 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会



「新春随想」原稿募集



恒例になりました「新春随想」を平成31年1,2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等 (1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内 (字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 平成30年12月10日(月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外 (マスコミ・行政・図書館等) にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法 (FAX, 郵便等) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。



診療メモ

医療用漢方製剤を処方されている先生方へ
そしてまだ処方されていない先生へちぐさ東洋クリニック ^{かわ}川 ^{ごえ}越 ^{ひろ}宏 ^{ふみ}文

全国医学部で漢方医学教育が行われ、日常診療で当たり前のように漢方薬が処方されています。20年前には考えられないことです。なぜなら20年前に私が医学教育学会誌に投稿した全国医学部の漢方医学教育調査では、少しでも教育している医学部は25%、きちんと講義する医学部は12.5%でした。私は平成6年から12年間東京女子医大付属東洋医学研究所のスタッフとして、臨床・研究に加え、漢方教育の方法確立を研究してきました。多くの医学部が我々の作ったカリキュラムを踏襲されたことは大変喜ばしいことでした。現在、医学生は内容に差はあるものの漢方に関する講義を受講しています。さらに漢方診療を行う多くの医師・研究者による研究は様々なエビデンスを積み重ねています。六君子湯のグレリンの産生増加を介しての食欲増進作用、大建中湯のモチリン産生やアセチルコリン遊離促進を介してのイレウス予防効果や内因性アドレノメデュリンの増加によりクローン病のラット病態モデルでの微小血流循環機能低下の改善など現代医学的手法で漢方の作用メカニズム解明が進んでいます。高額な合成薬に頼らずとも安価な漢方薬の研究が進めば膨大化する医療費問題も解決の糸口を見つけることが可能です。このような研究成果が積み重なり、それまで漢方に興味を示さなかった医師も漢方薬を1つの選択肢とするようになりました。

しかしこの急速な広がりには様々な問題点を発

生しています。その一つは複数医療機関から漢方同時処方問題、もう一つは漢方薬の長期処方問題です。処方の重なりは副作用問題の危険性が増します。漢方処方する際には別の医療機関からの処方、薬局やネットで自己判断で購入した漢方薬やサプリメントの生薬の重なりがないかを必ず確かめて下さい。それが判明した場合、前医とよく相談してください。保険審査が自動化されて将来的には縦覧に加えて複数の医療機関間での処方の重なりについて横覧検査が行われるとの噂があります。

また治療効果・副作用・アドヒアランスを確認しない長期処方は、飲み残し問題を起こします。漢方的診断「証」は病態とともに変化しますので、同一処方を初診時より数か月継続することは漢方的には難しいです。生薬は天然資源です。その保護という観点からも処方日数は短くしていただきと個人的には願っています。

漢方デビュー直前の先生へ

医師が漢方をはじめて処方するきっかけの一つが「患者さんの希望」です。9月24日のゴールデンタイムにNHKで東洋医学の特集番組が2時間放送され、認知症やフレイルに対して有効な処方として人參養榮湯が紹介されました。恐らくこの文章をお読みいただく先生方の中にはこの処方についての患者さんから

質問を既に受けている方もおられるでしょう。そんな先生方が患者さんにご説明できるような情報をまとめてみました。

人參養榮湯は『和剤局方』を原典とする処方。原典とはその処方が最初に文章として記載されている書物。『和剤局方』は北宋代の大観年間に当時の政府が裴宋元や陳師文らに命じて初版が編纂された全5巻、297処方を収めた医薬品の処方集。当時の国定薬局方でその後増補が繰り返され紹興年間に改名して『太平惠民和剤局方』が全10巻、788処方として発行。現在、医療用エキス製剤の多くは『傷寒雜病論』を原典とする処方が多いが、四君子湯・六君子湯・四物湯・十全大補湯・清上防風湯・清心蓮子飲・二陳湯・平胃散・香蘇散・五積散や医療用エキスにないが煎じ薬として舌炎に用いる涼膈散、関節痛に用いる烏藥順氣散、夏かぜに用いる藿香正氣散、難治性の皮膚疾患に用いる千金内托散も『和剤局方』を原典とします。人參養榮湯に話を戻します。まず基本条文です。当然漢字が並んでいます。是非先生の力でお読み解き下さい。

治積勞虛損，四肢沈滯，骨肉酸疼，吸吸正少氣，行動喘噎，小腹拘急，腰背胸強痛，心虛驚悸，咽乾唇燥，飲食無味，陰陽衰弱，悲憂慘戚，多臥少起，久者積年，急者百日，漸至瘦削，五臟氣竭，難可振復，又治肺與大腸俱虛，咳嗽下痢，喘乏少氣，嘔吐痰涎

構成生薬は当帰、白朮、熟地黄、茯苓、人參、桂枝、芍薬、陳皮、遠志、黄耆、甘草、五味子です。生薬構成からこの処方は四物湯合四君子湯去川芎加黄耆遠志五味子桂皮陳皮と捉えることも可能。また人參・黄耆を含み參耆剤ともみられます。四物湯は血虚、四君子湯は気虚に、川芎は鼻にツンとするセロリの様な香りが

あり、食欲を落とすこともあります。当帰芍薬散の食欲低下も川芎が影響しているといわれます。遠志(オンジ)はイトヒメハギの根が原料、少し前にオンジ入りの一般用薬品は記憶が良くなるというイメージでの販売、それに対して厚労省が注意。私はこの生薬は記憶に関するトラブルや認知機能に影響するイメージがあり、認知症の中核症状に用いる加味温胆湯や竜骨湯(ともに煎じのみ)、うつ傾向に用いる帰脾湯や加味帰脾湯などの構成生薬であり、高齢者向けの処方に用いられることが多いようです。

漢方薬を上手く使っていくには漢方医は口訣を憶えていきます。口訣とは実際の臨床の場面に於いて目の前におられる患者さんと先哲があげた、その処方に治療効果を得られやすいかを見極めるための診察上の要点です。いってみれば「〇〇な患者には△□湯」というキャッチコピーのようなものです。この処方にも有名な口訣があります。それは江戸時代の漢方医・津田玄仙が『療治経験筆記』に残してくれています。

毛髮墮落，顔色無沢，忽々喜忘，只淡不食，心悸不眠，周身枯淡，爪枯筋涸

殆どの文字は通常我々が用いる漢字の意味と同じですが、喜忘の「喜」という文字は「しばしば」と読み下します。すなわち喜忘とは「しばしば忘れる」ことなのです。これからすればこの処方は記銘力低下を来して食欲が低下し、顔色がすぐれない肌や爪が乾燥、毛髪も少ない高齢者に効きそうです。

もし先生の前におられる方がこのイメージに近い方であると判断された場合には、この処方を試してみても如何ですか？ ただし、お忘れいただきたいのは漢方でも副作用があること、そして処方日数は少なめに。

宮大医学部学生のページ



宮崎大学学園祭 第14回清花祭～清花絢爛～

清花祭清武キャンパス実行委員長 医学科4年 ^あ阿 ^べ部 ^{しん}眞 ^や也

日時：平成30年11月17日(土)、18日(日)

会場：宮崎大学 木花キャンパス・清武キャンパス

今年は上記の通り学園祭を行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年のスローガンは『清花絢爛』です。木花キャンパスと清武キャンパスが協力して、学園祭を華やかに盛り上げていくという意味が込められています。最高の学園祭にするため全員で力を合わせ頑張ります。様々なイベント・企画があり、以下では清武キャンパスでの内容の一部をご紹介します。

清武キャンパス医学展・イベント

<解剖・病理企画>

この企画は、体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型、また子ども達にも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。是非足を運んでいただき、医学や人体の面白さに触れてみて下さい！

<模擬店>

各部活が二日間にわたってそれぞれの模擬店を作り、清花祭を盛り上げます。清武キャンパスでは講義棟前の中庭を模擬店が囲み、はしまき・わたあめ・焼きそばなど様々な種類の食品販売がありますのでぜひご賞味ください。

<こども企画>

清花祭に遊びに来てくれた子どもたちを招待して、ミニ運動会を開催します。子どもたちや保護者の方々と一緒に楽しい時間を過ごしなが、医学部を身近に感じてもらえるような企画にしたいと思います。多くのお子さんの参加をお待ちしております。

<年齢企画>

毎年来場者が1,000人超え・リピーター続出の、地域の方々からも愛される人気企画です。脳・肌・血管・体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定することで、自身の健康に関心を持っていただきたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

<アロマ企画>

『人の心を癒す優しさ』を伝える療法として医療現場に取り入れられつつあるメディカルアロマセラピーについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、そしてハーブティーとお菓子の提供を通して“人を癒す”ことを考えようという企画です。ぜひ、日常とは少し違った『癒しの空間』をご堪能ください。

<患者さんの気持ち 看護師の気持ち お医者さんの気持ち>

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にしてきて、20年近くになります。今年も、学祭の際にこの本の配布をします。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで、お互いの「伝えなかったのに伝えられなかった思い」に近づく機会となれば幸いです。

宮崎大学学園祭 第14回清花祭～清花絢爛～

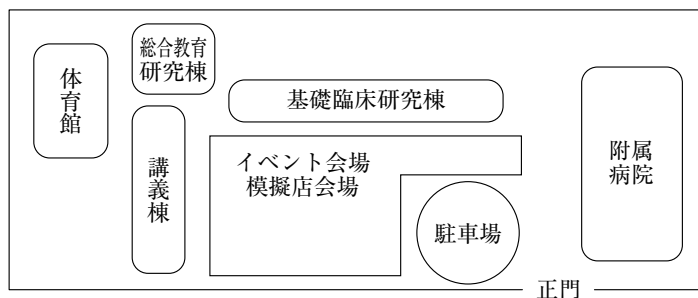
11月17日(土)・18日(日)開催

<清武キャンパスのイベントをご紹介します>

雨天の場合、イベントは全て体育館ステージで行われます。

イベント名 (場所)	時 間	内 容
11月17日(土)		
ミスキャン (屋外イベントステージ)	10:30～12:30	様々な競争を勝ち抜いた、清武キャンパス NO. 1 美女を決めるコンテストです。
芸能人 とろサーモン、おとなごっこ (屋外イベントステージ)	13:00～14:30	今年の日玉企画になります。宮崎県出身の2組の芸能人に来ていただき、清花祭を盛り上げていただきます。
すずかけ太鼓 (体育館)	14:30～15:00	勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。
KIZUNA (屋外イベントステージ)	15:00～17:00	学生がチームとなってゲームに取り組み、絆を一層深めてもらう企画です。
学祭 LIVE (軽音楽部部室)	15:00～17:00 18:00～22:00	軽音楽部や有志、学外の方などによるバンド演奏です(昼の部、夜の部の二部構成で行います)。 ※昼の部は KIZUNA と同時刻となりますのでご注意ください。
11月18日(日)		
コンテスト (屋外イベントステージ)	10:30～12:00	清武キャンパスで最も美しく最も勇ましい男の子を決定するコンテストです。
子ども企画 (体育館)	12:00～13:30	地域の子どもたちを招待してミニ運動会を開催します。
管打楽器 (屋外イベントステージ/体育館)	(屋 外) 12:00～12:30 (体育館) 14:30～15:00	管打楽器部による心に響くオーケストラ演奏です。
軽音ライブ (屋外イベントステージ)	12:30～13:00	軽音学部員によるバンドの演奏です。
DOC. (医学部ダンスサークル) (屋外イベントステージ)	13:00～13:45	新設されたダンスサークルによるパフォーマンスです。
アカベラ (体育館)	14:00～15:00	調和のとれた歌声を披露します。

<清武キャンパスマップ>



☆これまでイベントステージ、および模擬店は総合教育研究棟裏の職員駐車場で行われていましたが、昨年度より会場を講義棟前の広場に移動しました。講義棟で行われている医学展からも足を運びやすくなっています。ぜひこちらも合わせてお越しください。

☆模擬店の営業時間は
17日(土) 10:00～17:00
18日(日) 10:00～17:00
となっております。

他にも、医学展、模擬店など様々な企画が用意されています。
清花祭の詳しい情報については、<http://miyazaikiyoka.net>をご覧ください。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)にお問い合わせください。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月5日	・平成30年8月30日からの大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・平成30年8月30日からの大雨による災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて
9月6日	・防災推進国民大会2018の開催について
9月7日	・平成30年北海道胆振地方中東部を震源とする地震による被災者に係る被保険者証等の提示等について ・平成30年北海道胆振地方中東部を震源とする地震による災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の使用に当たっての留意事項について ・造血幹細胞移植法上の「造血幹細胞移植」の解釈の明確化について
9月10日	・平成30年北海道胆振東部地震による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・健康経営優良法人2019の申請受付について ・平成30年8月30日からの大雨により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・平成30年北海道胆振地方中東部を震源とする地震により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について
9月11日	・「メンデル遺伝型マイコバクテリア易感染症」の概要等について ・平成30年度肝炎医療コーディネーター研修会の開催について ・平成30年度結核予防週間の実施について ・臨床研修病院が研修医の募集及び採用を行う際の留意事項等について ・平成30年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・平成30年9月北海道胆振地方中東部を震源とする地震による被災地において医療用酸素ガスボンベの代わりに工業用酸素ガスボンベを用いて医療用酸素ガスを供給すること等について ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・抗PD-L1 抗体抗悪性腫瘍剤(イミフィンジ点滴静注)に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・平成30年台風21号による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行令第二条第二項の市町村を定める省令の一部を改正する省令の施行について

送付日	文 書 名
9月14日	・「生計困難者等の住まいにおける防火安全対策の助言等について」に関する運用上の取扱いについて ・市町村や地域包括支援センターにおける身元保証等高齢者サポート事業に関する相談への対応について ・市民向け認知症セミナー認知症予防とリハビリについて ・バルサルタン製剤における発がん物質の検出に対する対応について ・平成30年台風21号に関する労災診療費等の請求の取扱いについて ・平成30年北海道胆振地方中東部を震源とする地震に関する労災診療費等の請求の取扱いについて
9月18日	・平成30年北海道胆振東部地震に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第53条の2に基づく定期の健康診断に係る受診案内について ・平成30年北海道胆振東部地震による被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・平成30年台風第21号に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて ・バイオシミラーに関する講習会の開催について ・平成30年北海道胆振東部地震による被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
9月19日	・医療機器のサイバーセキュリティの確保に関するガイダンスについて ・平成30年北海道胆振東部地震による社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣に係る費用の取扱いについて ・介護保険における平成30年度保険者機能強化推進交付金(都道府県分)の交付について ・抗インフルエンザウイルス薬の「使用上の注意」の改訂について ・「使用上の注意」の改訂について
9月21日	・国立がん研究センター がん情報サービス「希少がん専門施設を探す」に係る周知について ・病院又は診療所を介護保険施設等へ転用する場合の手続きの周知について ・平成30年北海道胆振東部地震における介護報酬等の取扱いについて ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・韓国における中東呼吸器症候群(MERS)患者の発生について ・厚生労働省主催「平成30年度新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」の開催について ・平成30年8月30日からの大雨による災害及び平成30年北海道胆振地方中東部を震源とする地震に伴う予防接種の取扱について
9月25日	・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・日本医師会ORCA管理機構 主催「会員制倶楽部オベリスク」の開講について
9月26日	・医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査について ・「おむつに係る費用の医療費控除の取扱いについて」の一部改正について ・共済組合員証等の無効について ・平成30年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会の実施について
9月27日	・日本医師会・日本医学会合同公開フォーラム「HPVワクチンについて考える」の開催について
10月2日	・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・アドセトリス点滴静注用50mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について

あとかき



先日、産婦人科に入局した時に大変お世話になった先輩の還暦のお祝いを兼ねた食事会“女医会”に出席してきました。入局して間もない研修医のころは、給料はピン札の現金支給で、医局にある私用の棚の書類に重なりわからないくらいの薄い封筒の中に入っていたのを覚えています。そのころに、面倒をみてくれた先輩が還暦を迎えたという驚きと、い

つの間にか年月が過ぎたということをつくづく感じました。入局したころも、年に一度は、大学にいる先生方をはじめ、他の病院に出向している先生方、すでに開業している先生方にも声をかけ、みんなで集まってわいわいと日頃の愚痴を言ったり、聞いてもらったりと、医局内ではすでに一目置かれていた“女医会”でした。

その当時、医局に在籍している女性の先生方も数少なく、先輩と言えば、6～7名、私の入局後6年目にやっと後輩が1～2名入局してきたような状況でした。入局して2年目の頃に、2人の先輩が立て続けに結婚、妊娠、出産をしています。この当時の話を聞くと、“産休をとる”ということで、医局内での風当たりは相当強く、産休に入りその後復帰するまでのこと、復帰した後の臨床研修等については、“女医会”の先輩方の医局内での“強い発言”があったからこそ、現場復帰をすることができたという話を聞くと、このような先輩方に見守られたことに感謝することと同時に、いつまでもお元気であってほしいと思いながら、楽しいひと時を過ごすことができました。(上山)

* * * * *

12か月を4等分できるわけではないでしょうが、四季の中では秋が一番短くて、感じにくいのではないかと個人的に思っています。異常気象のせいかもしれません。短くなっている感じがします。今年も猛暑の後にすぐ寒くなった感じであまり秋を感じられませんでした。皮膚科は夏に患者さんが多いのですが、患者さんが減ってくると秋だなあと感じます。もう少し風流に秋を感じたいので晩御飯に栗と秋刀魚を、デザートに柿をリクエストし、無事、小さい秋をゲットしました。(西田)

* * *

今年もカープがセ・リーグ優勝しました。しかも、今年の相手は念願のソフトバンク！日本シリーズを観に行くならヤフードームしかないと思うしていました。しかし、肝心のチケットは？願いごとは口にすればするほど叶うとよく言いますが、なんと日本シリーズ第3戦のチケットが手に入りました！広報委員になって3年目。カープも3年連続リーグ優勝。何か関係があるなら広報委員の仕事も頑張ろうかなと考え直したところでした。(笑) (野村)

* * *

9月でクリニカルクラークシップⅠが終わり、進級試験を受け、10月はようやく一息つくことのできる休みとなりました。ついこの間実習が始まったような気がしていましたが、なんだかんだあつという間に一年間が経ってしまいました。最初のうちは本当に右も左も分からないような状態でしたが、多少

は知識もついて分かるようになってきたかなと、自分では勝手に思っております。10月の終わりからまた実習というのは正直少し憂鬱ですが、なんとか頑張っていきたいと思います。(二見)

* * *

4年前期は、部活や音楽祭の幹部、そして怒涛のテスト続きなど、心身ともに疲れる日々が続きました。そんな中、気にかけてくれる同期や先輩後輩の温かさに何度も救われました。そして何より、果物をそっと置いて励ましてくれる母や、単身赴任にも関わらず気にかけて宮崎に帰ってきてくれる父、離れてるけど応援してくれる姉達にお世話になりました。学生生活は残り2年ですが、いつか恩返しができるよう、また一つひとつ頑張っていきたいです。(土持)

* * *

しばらく前よりGmailではメールを受信するとその内容に応じた返信文案が3つ提案されるようになっていきます。これは機械学習による人工知能(AI)が返信の案を自動作成してくれる機能です。「迎えをお願いします」というメールには「了解です」「はい」「無理です」の案、「○○で待ってます」には「了解です」「今行きます」「着きました」の案が表示されました。どんな提案がされるのかといろいろ試してみたところ、「最近、忙しいです」の返信案は「そうなんだ」「あらら」「なるほど」でした。あらら…。

(荒木)

今月のトピックス

日州医談 医療メディエーターと医療安全

医療メディエーターにつき、小牧斎常任理事に解説していただきました。用語の解説から歴史的経緯、今後医療機関としてどう向き合うべきかなどを示していただきました。今後研修会なども企画されているようなので、参加してみようと思います。

4 ページ

エコーリレー

これからとこれまでに語る文章が掲載されています。真ん中辺りにいる自分は何を思っているのか、日々の仕事をしているのだろうかと考えさせられた次第です。

9 ページ

診療メモ 医療用漢方製剤を処方されている先生方へ そしてまだ処方されていない先生へ

漢方についてちぐさ東洋クリニックの川越宏文先生に教えていただきました。前半の総論はすんなり理解、納得できましたが、後半の各論になると一気にハードルが上がり難しく思いました。結びの文章までぜひご一読下さい。

64 ページ

日 州 医 事 第831号(平成30年11月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副 委 員 長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)